

就学前児童用ニーズ調査結果について

平成26年3月14日
八街市市民部児童家庭課

八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査
～就学前児童調査 報告書(案)～

平成 26 年 3 月

八街市

目 次

調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
3 報告書の見方.....	3

調査結果の分析

I 就学前児童調査

1. 回答者のプロフィール.....	7
2. 子どもの育ちをめぐる環境.....	11
3. 保護者の就労状況.....	16
4. 定期的な教育・保育事業の利用状況.....	21
5. 地域の子育て支援事業の利用状況.....	31
6. 休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望.....	36
7. 病気の際の対応.....	39
8. 一時預かり、宿泊を伴う一時預かり等について.....	45
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方.....	51
10. 職場の両立支援制度.....	55
11. 市の子育て環境や子育て支援サービス.....	66

調査の概要

1. 調査の目的

「子ども・子育て支援事業計画」策定に向けて、確保を図るべき子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の、保育所や幼稚園などの教育・保育・子育て支援に関する現在の利用状況や今後の利用希望を把握し、同計画を策定するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の設計

(1) 八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童）

- ①調査対象：八街市内に居住する就学前児童の保護者
- ②標本数：1,000人
- ③抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法
- ④回収数（率）：496人（49.6%）
- ⑤調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間：平成26年1月14日～31日

(2) 八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学児童）

- ①調査対象：八街市内に居住する小学生児童の保護者
- ②標本数：1,000人
- ③抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法
- ④回収数（率）：455人（45.5%）
- ⑤調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間：平成26年1月14日～31日

3. 報告書の見方

* 報告書を読むにあたっての注意

- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- ・図表中の「n」（net）とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下1位まで示した数値は回答比率（%）である。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

調査結果の分析

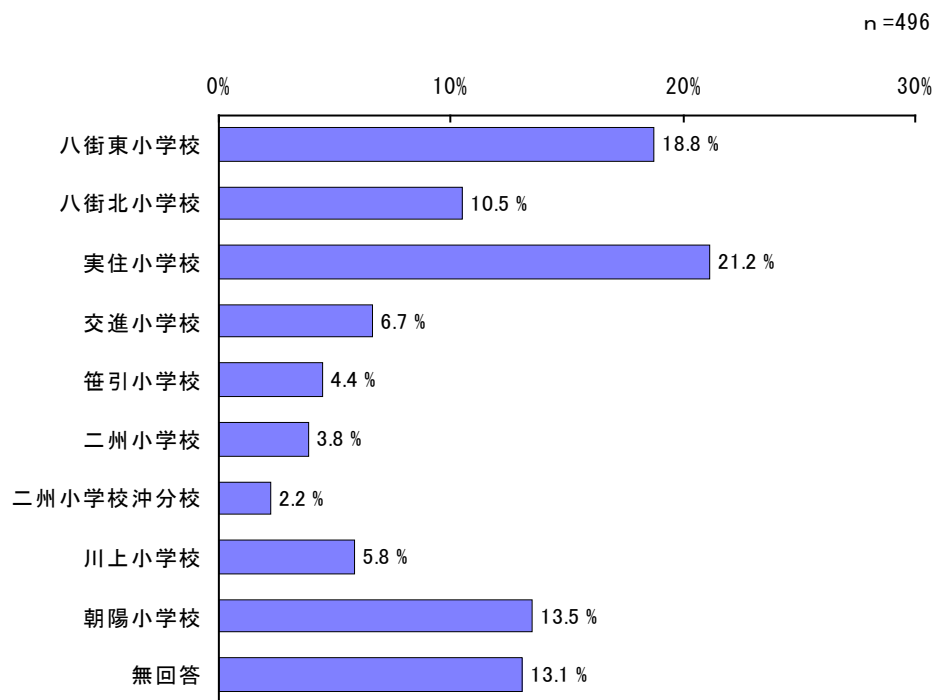
I 就学前児童調査

1. 回答者のプロフィール

(1) 小学校区

問1 お住まいの地区の小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

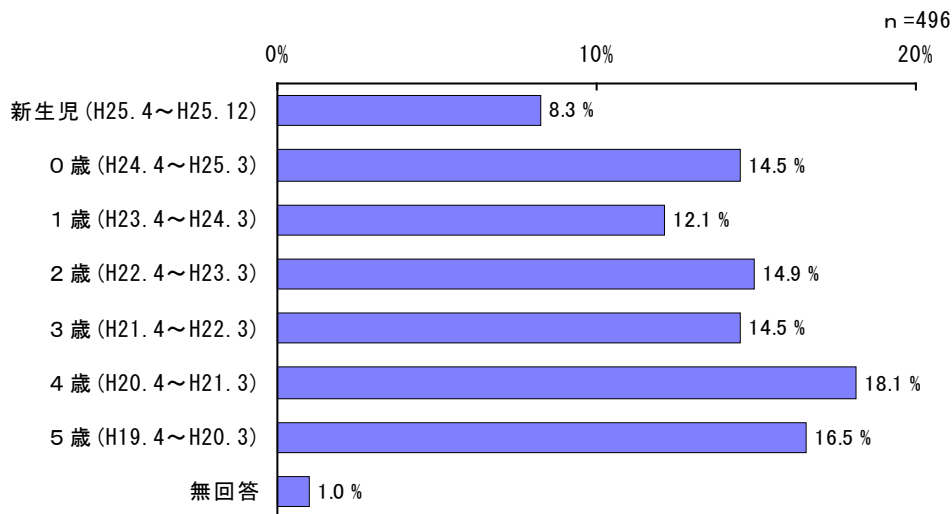
小学校	地区
1. 八街東小学校	一区、七区、朝日区、富山区、大関区
2. 八街北小学校	榎戸区、泉台区、みどり台区、真井原区(市道15008号線以北、氷川神社南側私道以北、市道15006号線以东の区域)
3. 実住小学校	二区、三区、四区、五区、六区(ほ番地、木原)、大東区、東吉田区(総武ニュータウン、691番地2及び県道53号線以南で、かつ、市道2級10号線以西の区域を除く。)、ライオンズガーデン区
4. 交進小学校	西林区、夕日丘区、真井原区(市道15008号線以北、氷川神社南側私道以北、市道15006号線以东の区域を除く。)
5. 笹引小学校	六区(へ番地)、四木区(515番地～1205番地)、東吉田区(総武ニュータウン、691番地2及び県道53号線以南で、かつ、市道2級10号線以西の区域)
6. 二州小学校	四木区(515番地～1205番地を除く。)、滝台区、山田台区、沖区、上砂区(290～478、481の2、482の1、482の2、811～857番地)
7. 二州小学校沖分校	沖区
8. 川上小学校	大谷流区、小谷流区、根古谷区、岡田区、用草区、勢田区、吉倉区、砂区、上砂区、(290～478、481の2、482の1、482の2、811～857番地を除く。)、希望ヶ丘区、ガーデンタウン区
9. 朝陽小学校	文違区、住野区、藤の台区、喜望の社区、八街・榎戸学園台区



○回答者の小学校区は、「実住小学校」21.2%が最も多く、次いで「八街東小学校」18.8%、「朝陽小学校」13.5%、「八街北小学校」10.5%などである。

(2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)



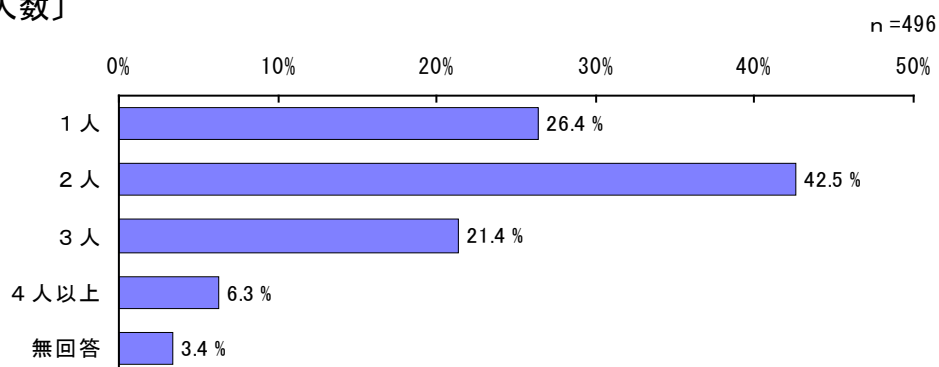
※ 4 月 1 日時点で計算

○調査対象の子どもの年齢について回答があった生年月を 4 月 1 日時点で算出すると、「4 歳」18.1% が最も多く、次いで「5 歳」16.5%、「2 歳」14.9%、「0 歳」及び「3 歳」がいずれも 14.5%、「1 歳」12.1%と続き、「0 歳」がやや少なく 8.3%である。

(3) 子どもの人数と末子の年齢

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お 2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

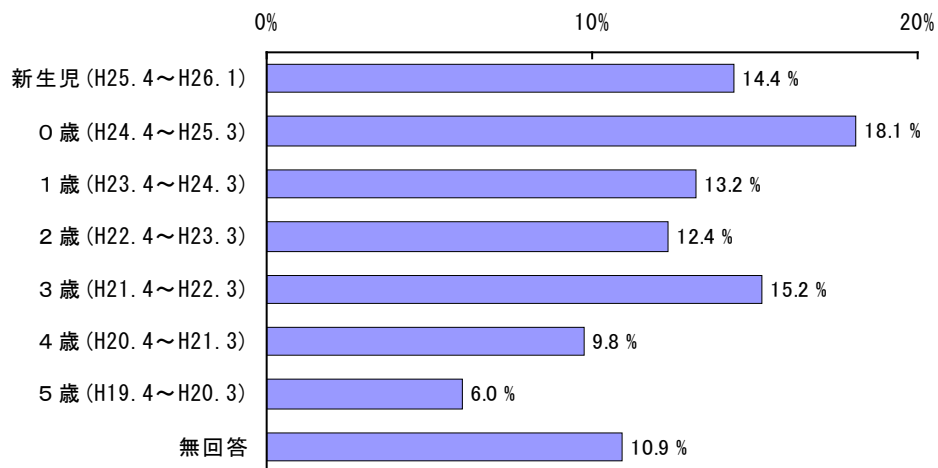
〔子どもの人数〕



○子どもの人数は「2 人」が最も多く 42.5%、次いで「1 人」26.4%、「3 人」21.4%、「4 人以上」6.3%である。

〔２人以上の場合の末子の年齢〕

n=348

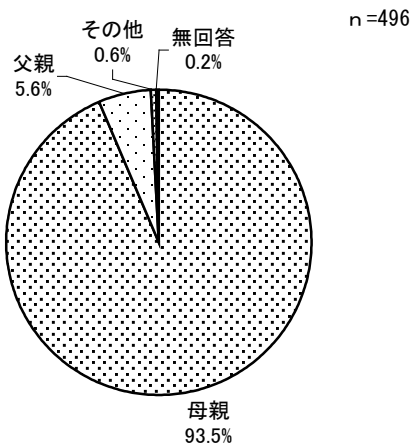


※ 4 月 1 日時点で計算

○子どもが２人以上いる回答者のうち、末子の年齢は、「０歳」が 18.1%、「３歳」が 15.2%、平成 25 年 4 月以降に生まれた「新生児」が 14.4%などである。

（４）回答者

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

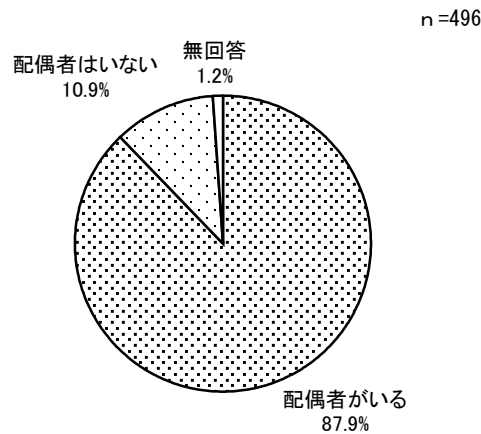


○調査票の回答者は、「母親」 93.5%が 9 割以上で大半を占め、「父親」 5.6%、「その他」 0.6%である。

○「その他」の回答は、「祖母」「叔母」「姉」であった。

（５）配偶関係

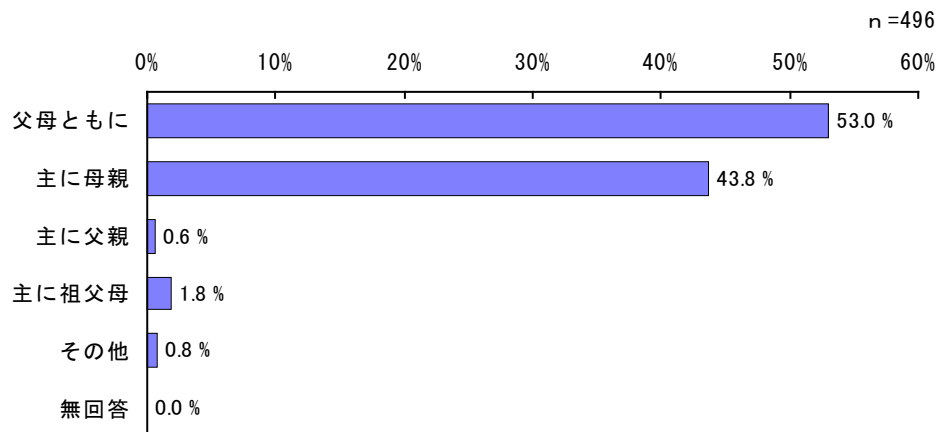
問５ この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。



○「配偶者がいる」87.9%、「配偶者がいない」10.9%である。

（６）子育てを主に行っている人

問６ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。

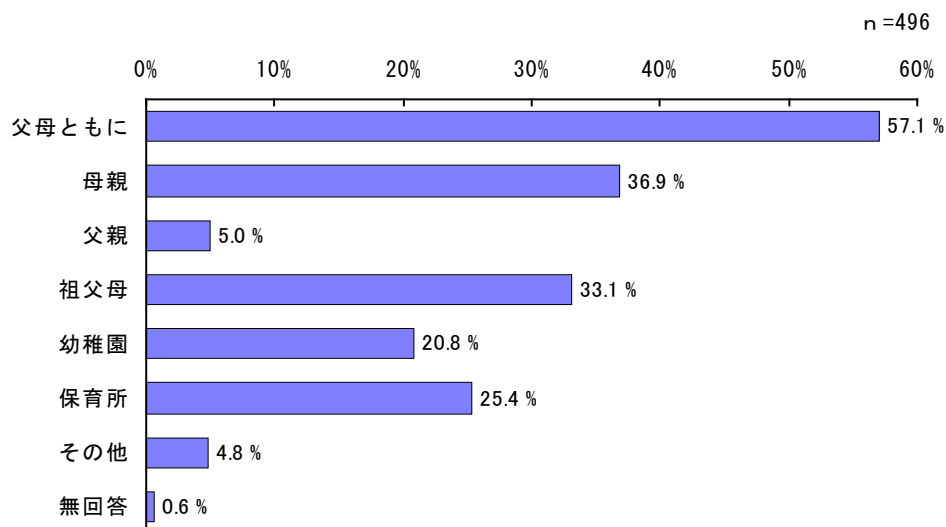


○子どもの子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が53.0%と半数を超えて多く、次いで「主に母親」43.8%などとなっている。

2. 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てに日常的に関わっている方

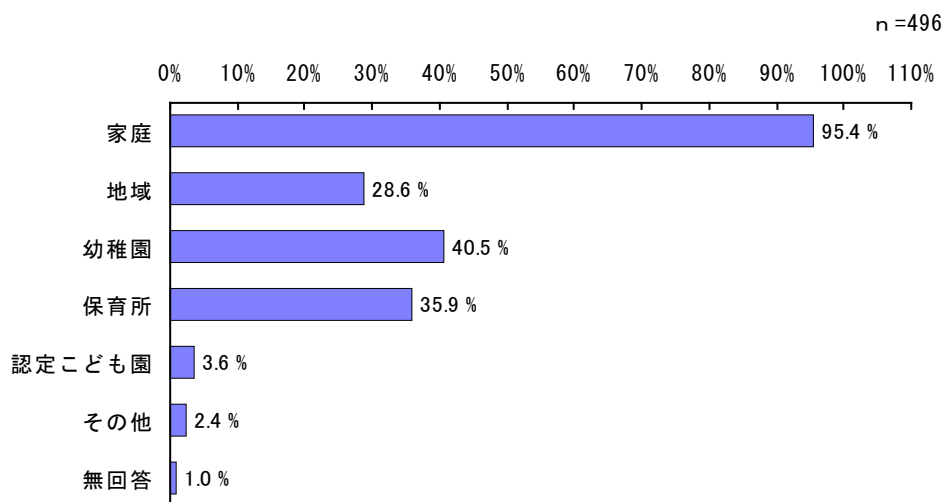
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○子育てに日常的に関わっている人は、「父母ともに」57.1%が5割を超えて最も多く、次いで「母親」36.9%、「祖父母」33.1%がいずれも3割台、「保育所」25.4%、「幼稚園」20.8%と続き、「父親」は5.0%である。

(2) 子育てに影響する環境

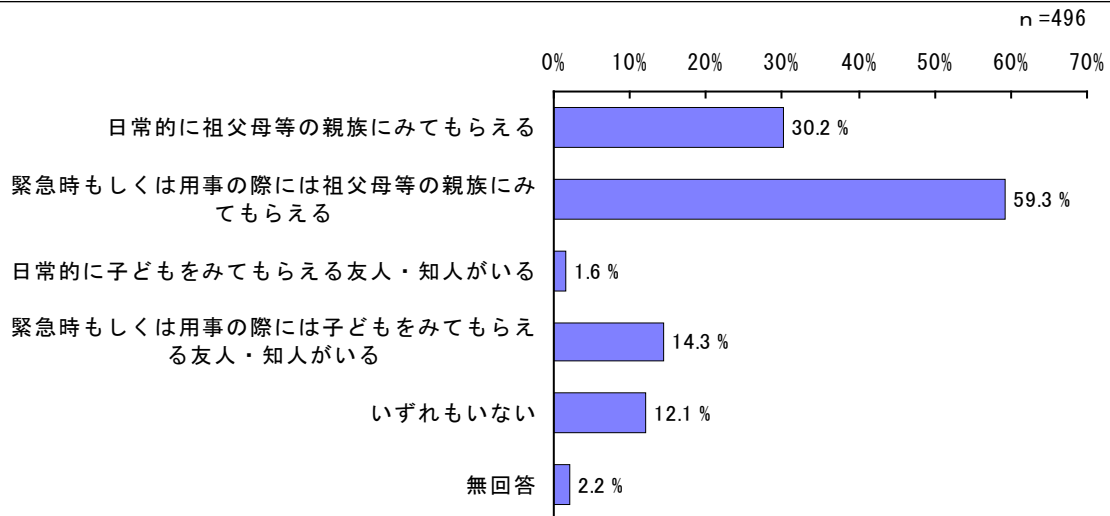
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



○子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」95.4%が9割半ばで最も多く、次いで「幼稚園」40.5%、「保育所」35.9%、「地域」28.6%などである。

(3) 日頃のサポートの状況

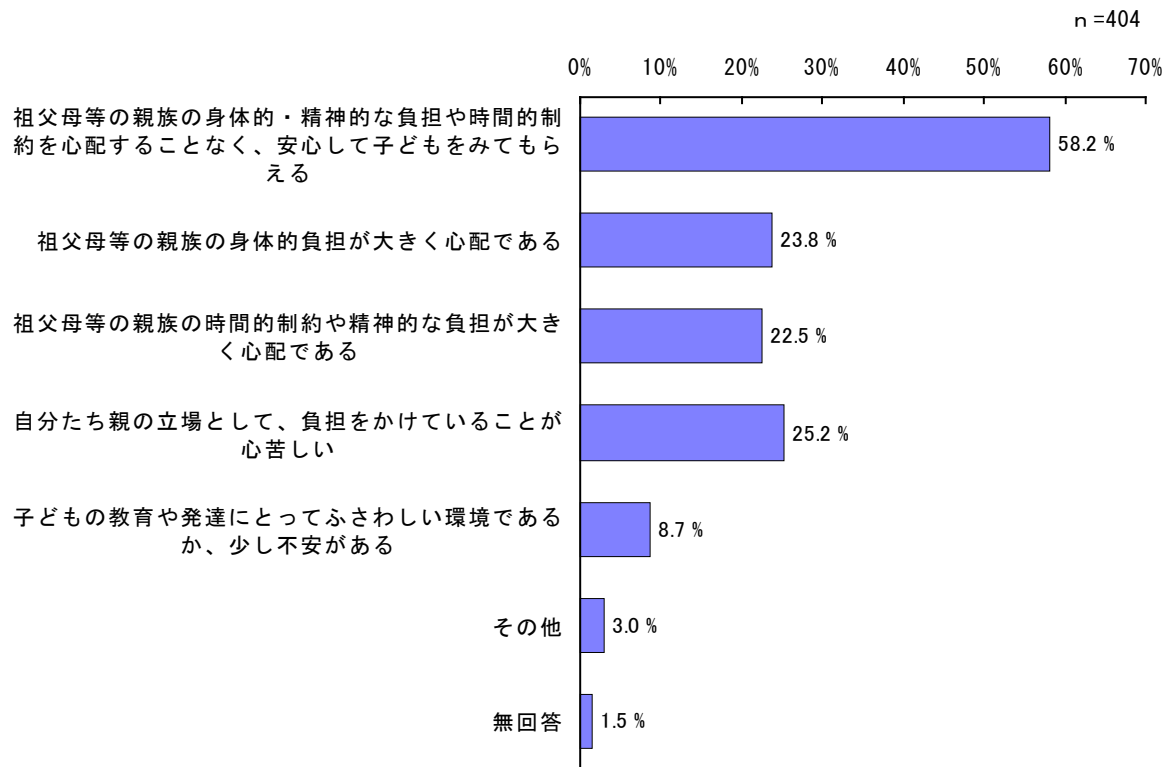
問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○日頃のサポートの状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 59.3% と約 6 割にのぼって多く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は 30.2% と合わせると、『祖父母等の親族にみてもらえる』は約 9 割を占める。「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は 14.3%、「いずれもない」は 12.1% である。

(4) 祖父母からのサポートの状況

問 9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

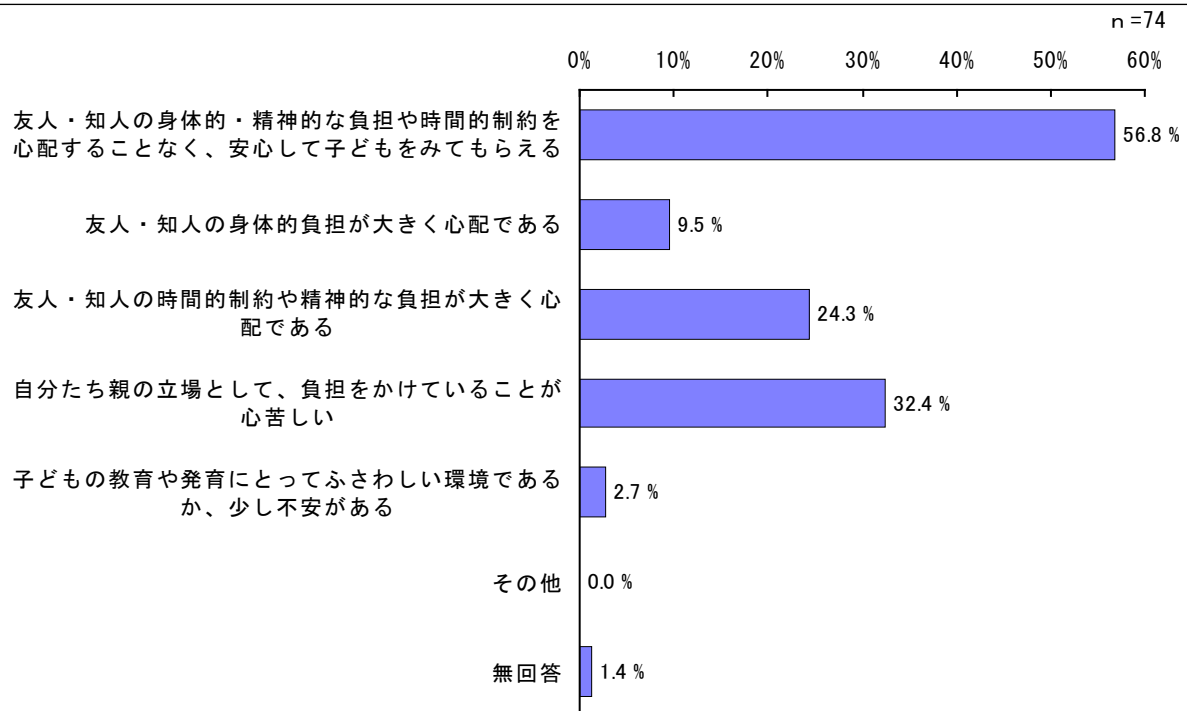


○日常的にもしくは緊急時に祖父母等の親族に子どもをみてもらえると回答した人にその状況についてたずねたところ、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」58.2%が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」25.2%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」23.8%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きいく心配である」22.5%などである。

(5) 友人・知人からのサポートの状況

問9-2 **問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。**

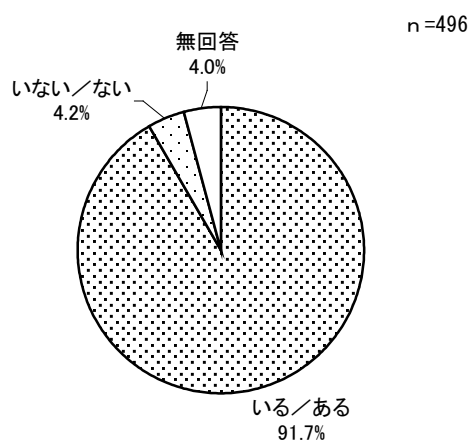
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○日常的もしくは緊急時に友人・知人に子どもをみてもらえると回答した人にその状況についてたずねたところ、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.8%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」32.4%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」24.3%などである。

(6) 子育てに関する相談先の有無

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

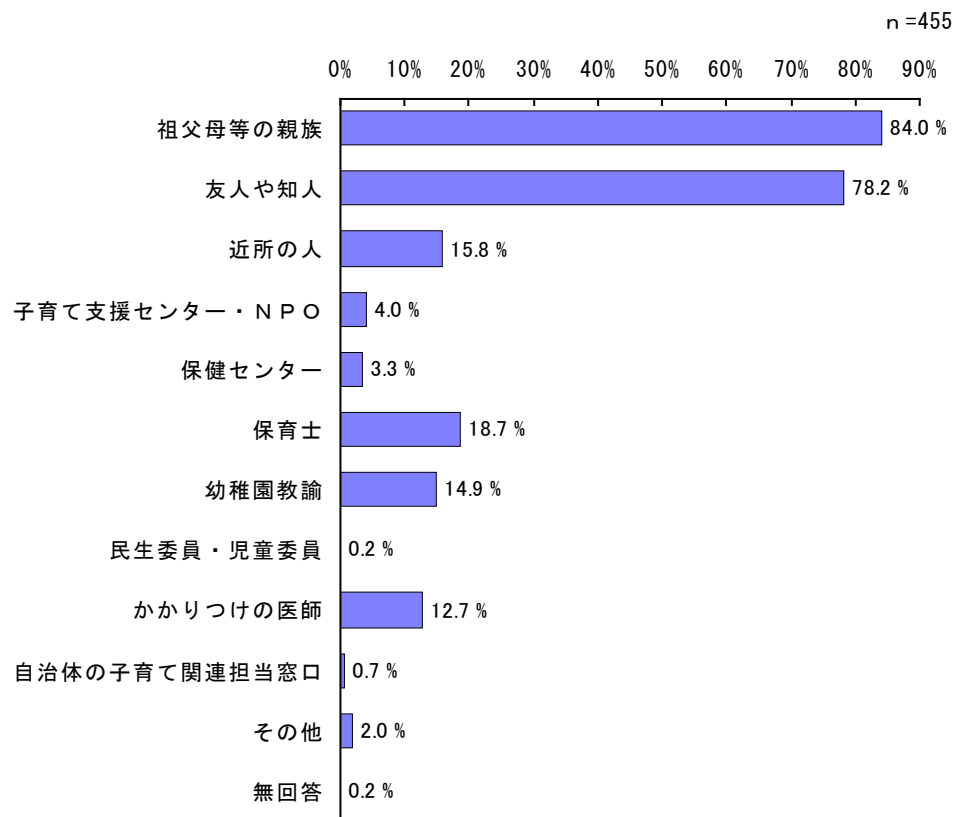


○子どもの子育てをする上で気軽に相談できる人が「いる／ある」が91.7%と9割を占め、「いない／ない」は4.2%である。

（７）子育てに関する具体的な相談先

問 10-1 問 10 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○相談先があると回答した人に、具体的な相談先をたずねたところ、「祖父母等の親族」84.0%、「友人や知人」78.2%がいずれも8割前後で高く、次いで「保育士」18.7%、「近所の人」15.8%、「幼稚園教諭」14.9%などである。

（８）あればよいと思う周囲からのサポート

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

※自由回答をまとめている最中です。

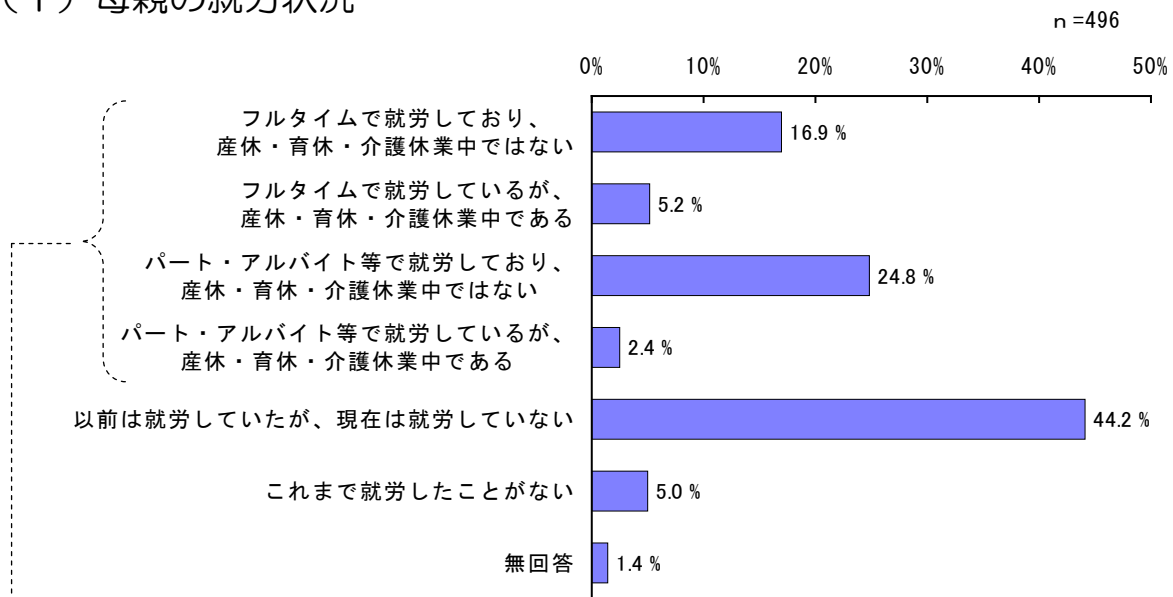
3. 保護者の就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況 *（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所 1 つに○をつけてください。

問 12-1 **問 12 で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。**

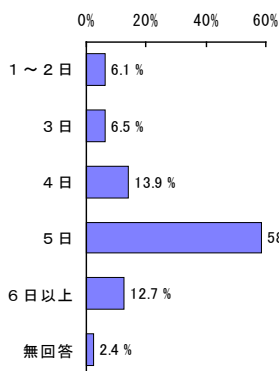
1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

（1）母親の就労状況

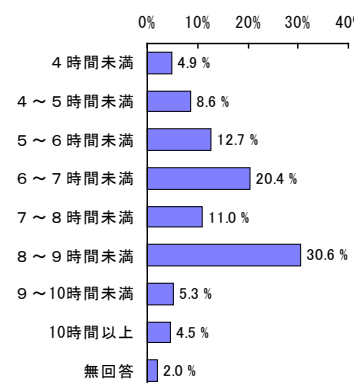


○母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」44.2%が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」24.8%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」16.9%などである。

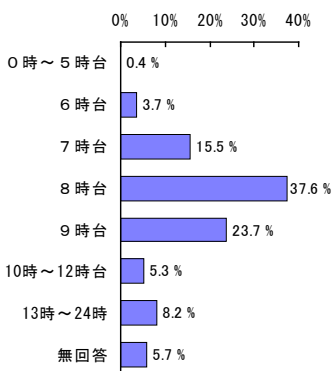
〔週当たり日数〕



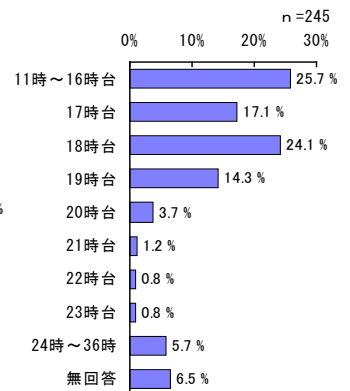
〔1日当たり時間〕



〔家を出る時刻〕

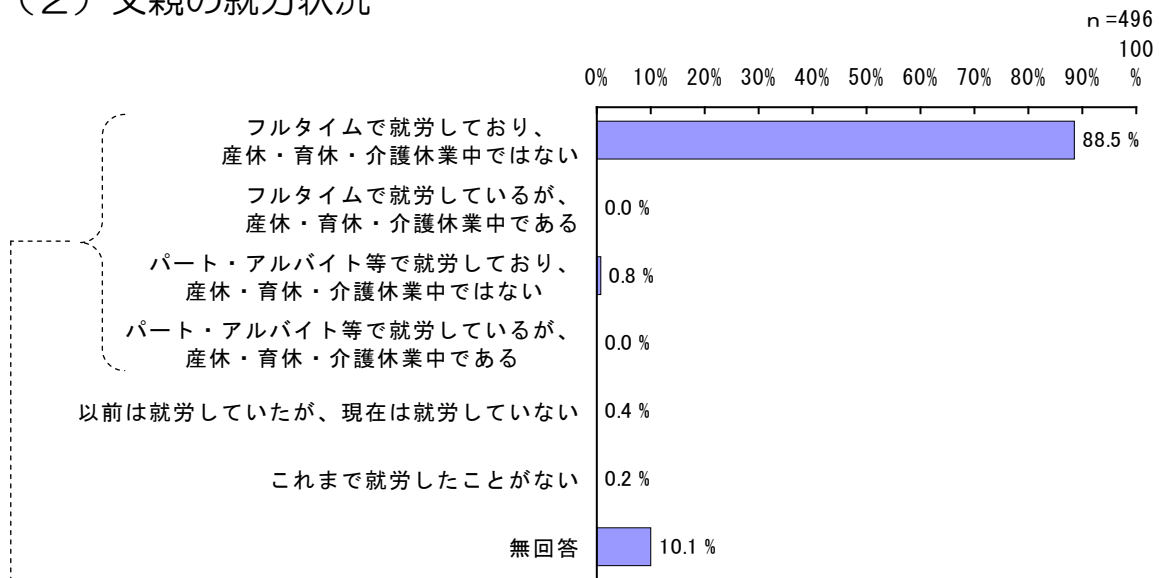


〔帰宅時刻〕



* ここでいう「フルタイム」とは、1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労のことです。
「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の就労のことです。

(2) 父親の就労状況



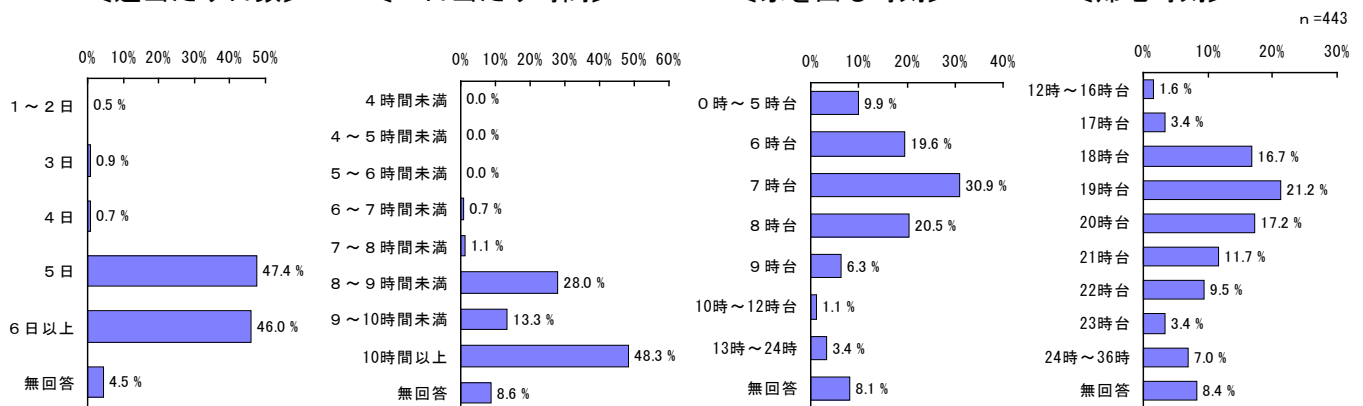
○父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」88.5%が約9割と多く、他の項目は1%に満たない。

〔週当たり日数〕

〔1日当たり時間〕

〔家を出る時刻〕

〔帰宅時刻〕

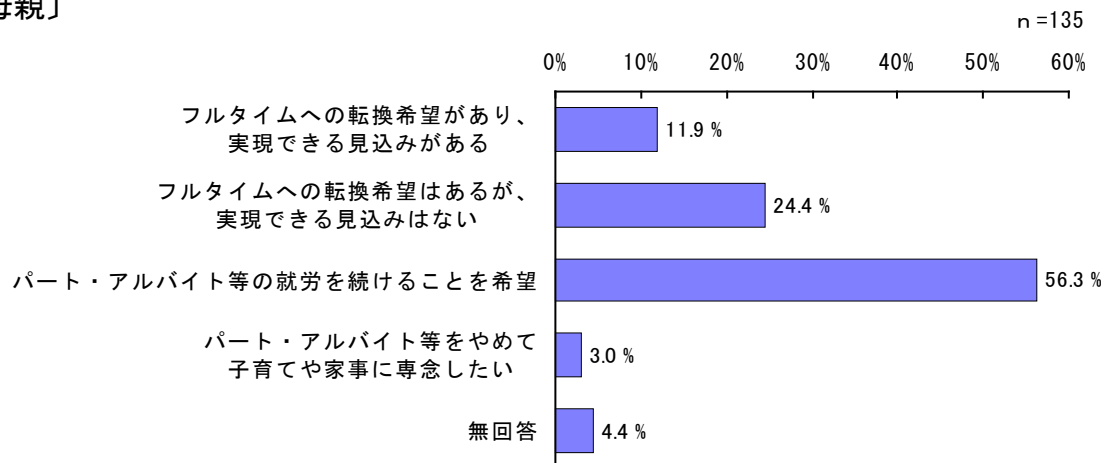


(3) パートタイムで働いている親のフルタイムへの転換希望

問 13 問 12 で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問 14 へお進みください。

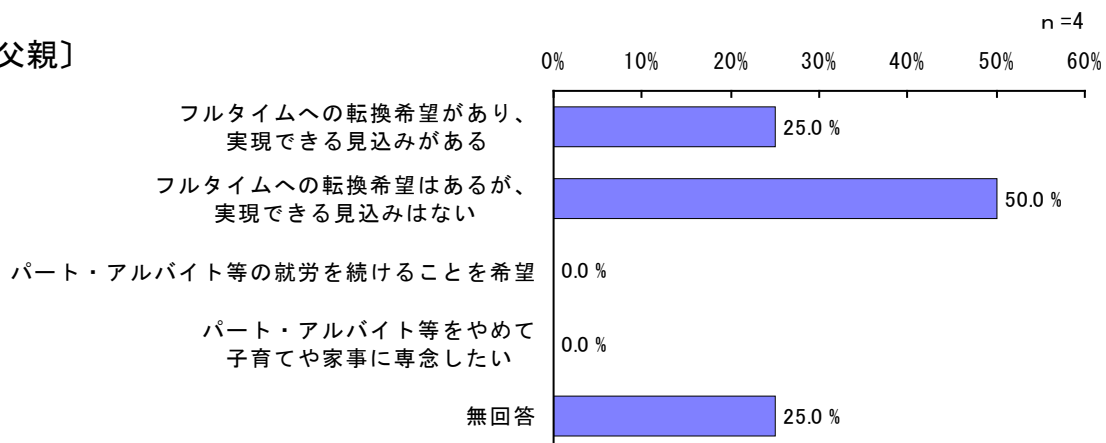
フルタイムへの転換希望はありますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所 1 つに○をつけてください。

〔母親〕



○パート・アルバイト等で就労している母親に、フルタイムへの転換希望についてたずねたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 56.3%と半数を超えて多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」24.4%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」11.9%などである。

〔父親〕



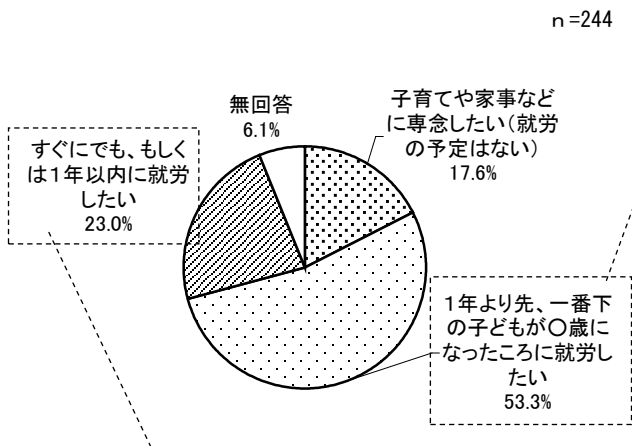
○パート・アルバイト等で就労している父親 4 人に、フルタイムへの転換希望についてたずねたところ、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 2 人、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」1 人である。

(4) 無職の人の就労希望

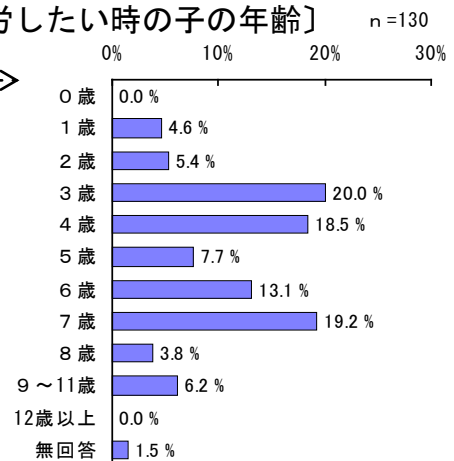
問 14 問 12 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

〔母親〕



〔就労したい時の子の年齢〕

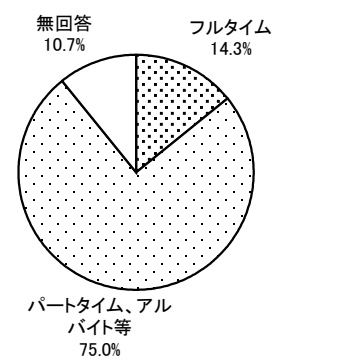


○無職の母親 244 人に今後の就労希望をたずねたところ、「1年より先、1番下の子どもが○歳になったところに就労したい」が 53.3%と半数を超えて多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」23.0%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」17.6%である。

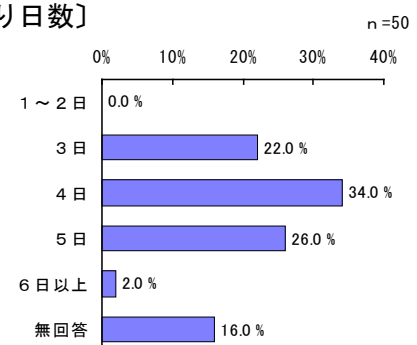
○「1年より先、1番下の子どもが○歳になったところに就労したい」と回答した人の子どもの年齢は、「3歳」20.0%が最も多く、次いで「7歳」19.2%、「4歳」18.5%、「6歳」13.1%などである。

○「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」75.0%、「フルタイム」14.3%である。また、1週当たり「4日」34.0%が最も多く、次いで「5日」26.0%、「3日」22.0%などである。1日当たりの時間数は「4～5時間未満」28.0%が最も多く、次いで「5～6時間未満」22.0%、「6～7時間未満」16.0%などである。

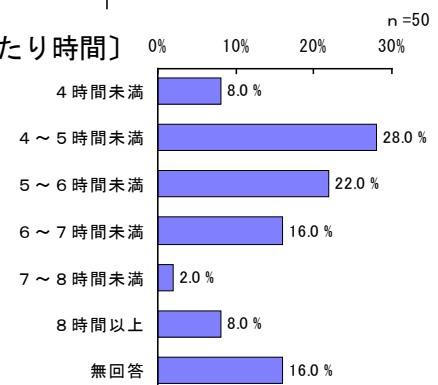
〔希望する就労形態〕



〔週当たり日数〕

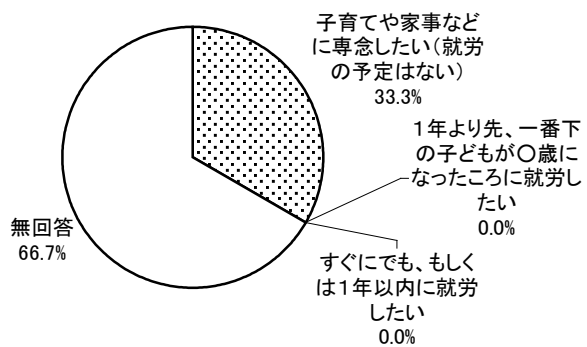


〔1日当たり時間〕



〔父親〕

n=3

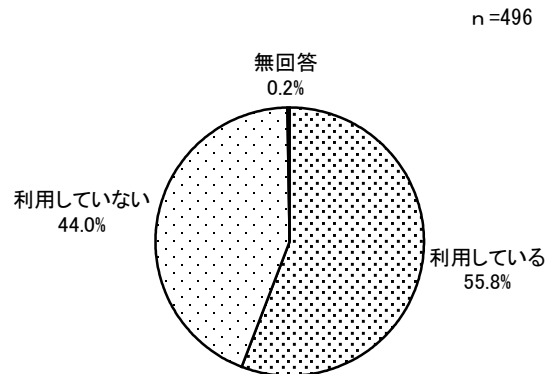


○無職の父親3人に今後の就労希望をたずねたところ、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人、2人は無回答である。

4. 定期的な教育・保育事業*の利用状況

(1) 利用状況

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○定期的な教育・保育の事業を「利用している」55.8%、「利用していない」44.0%である。

〔年齢別クロス集計〕

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

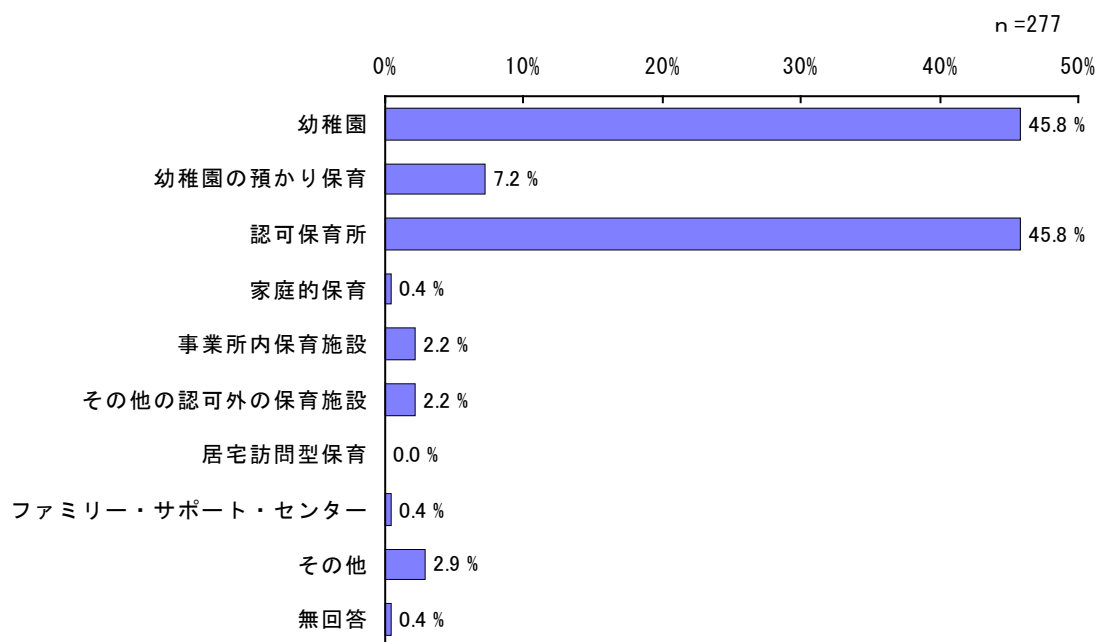
	全体	利用している	利用していない	無回答
合計	496 100.0	277 55.8	218 44.0	1 0.2
新生児	41 100.0	2 4.9	39 95.1	0 0.0
0歳	72 100.0	6 8.3	66 91.7	0 0.0
1歳	60 100.0	20 33.3	40 66.7	0 0.0
2歳	74 100.0	28 37.8	46 62.2	0 0.0
3歳	72 100.0	50 69.4	22 30.6	0 0.0
4歳	90 100.0	87 96.7	3 3.3	0 0.0
5歳	82 100.0	79 96.3	2 2.4	1 1.2

○年齢別にみると、「利用している」は、「5歳」96.3%及び「4歳」96.7%がいずれも9割半ばで多く、次いで「3歳」69.4%、「2歳」37.8%、「1歳」33.3%、「0歳」8.3%、「新生児」4.9%である。

* ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○定期的な教育・保育の事業を利用している人にその事業をたずねたところ、「幼稚園」と「認可保育所」がいずれも 45.8%で多く、両者の合計は9割を超える。次いで「幼稚園の預かり保育」7.2%、「事業所内保育施設」及び「その他の認可外の保育施設」がいずれも 2.2%などである。

〔年齢別クロス集計〕

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	認可保育 所	家庭的保 育	事業所内 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他	無回答
合計	277 100.0	127 45.8	20 7.2	127 45.8	1 0.4	6 2.2	6 2.2	0 0.0	1 0.4	8 2.9	1 0.4
新生児	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
0歳	6 100.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1歳	20 100.0	1 5.0	2 10.0	13 65.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0
2歳	28 100.0	1 3.6	1 3.6	19 67.9	1 3.6	2 7.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	3 10.7	0 0.0
3歳	50 100.0	11 22.0	4 8.0	35 70.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0
4歳	87 100.0	60 69.0	4 4.6	25 28.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.4	0 0.0
5歳	79 100.0	49 62.0	8 10.1	30 38.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0

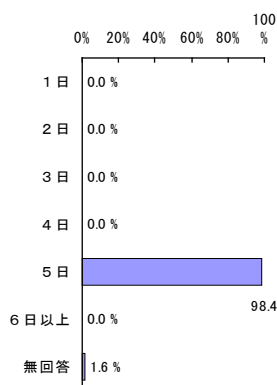
○利用している事業について年齢別でみると、「幼稚園」は4歳から5歳でいずれも6割台、3歳で2割台である。「認可保育所」は0歳から2歳でいずれも6割台、3歳で7割、4歳では3割弱、5歳で4割弱である。

(2) 利用時間

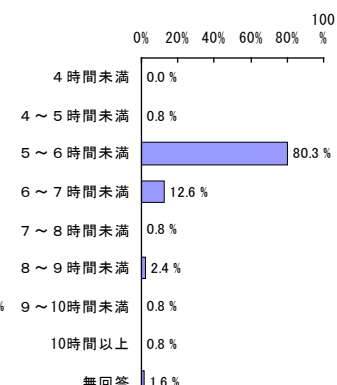
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

〔幼稚園〕（n=127）

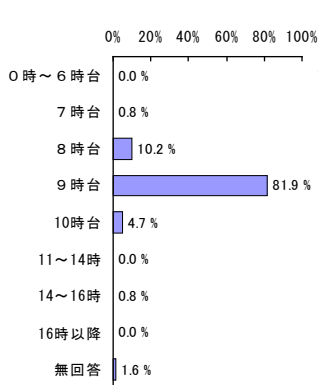
① 1週当たり日数



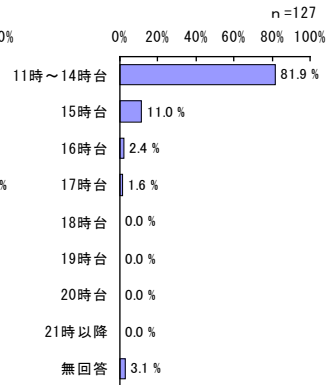
② 1日当たり時間



③ 開始時間

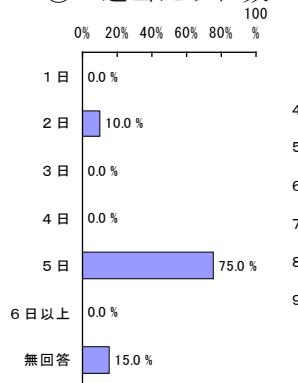


④ 終了時間

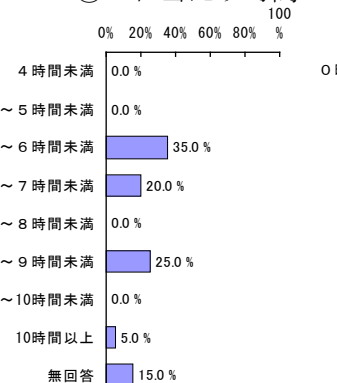


〔幼稚園の預かり保育〕（n=20）

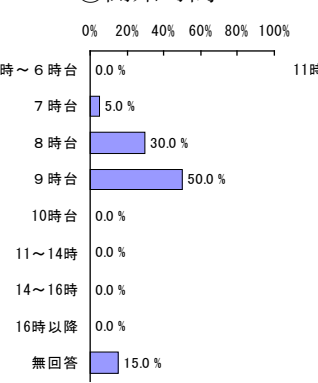
① 1週当たり日数



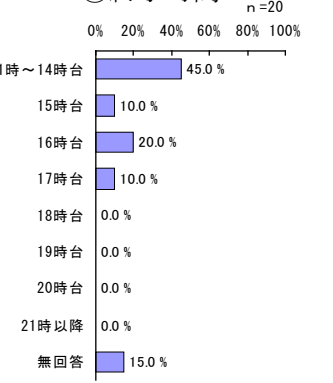
② 1日当たり時間



③ 開始時間

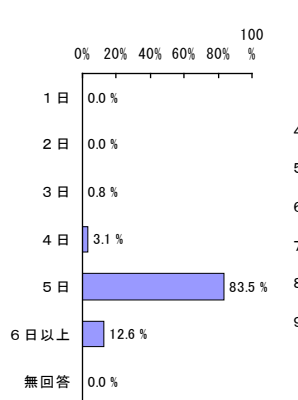


④ 終了時間

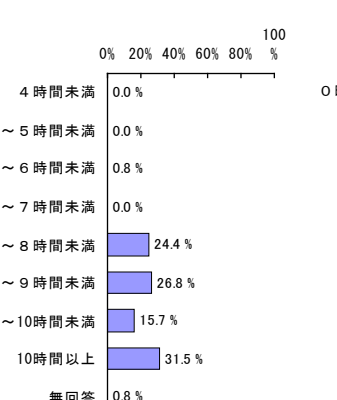


〔認可保育所〕（n=127）

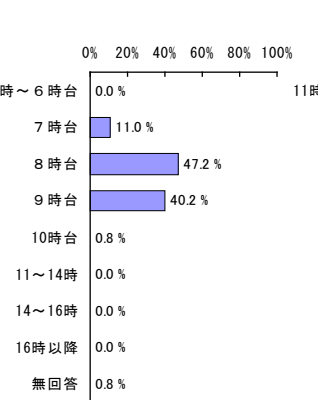
① 1週当たり日数



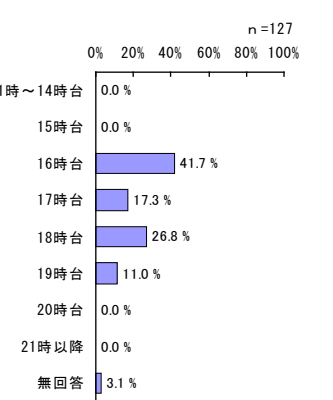
② 1日当たり時間



③ 開始時間

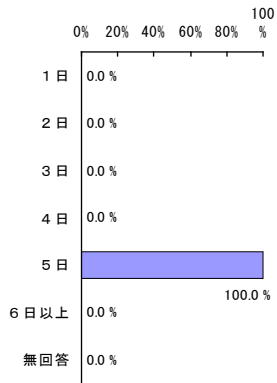


④ 終了時間

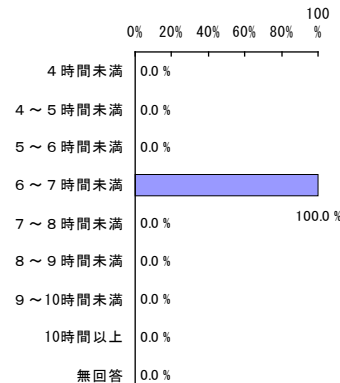


〔家庭的保育〕 (n=1)

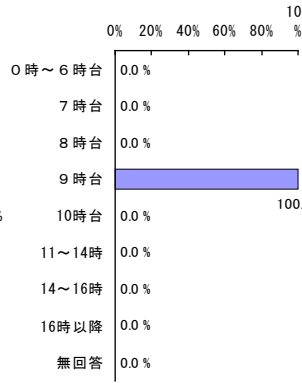
① 1週当たり日数



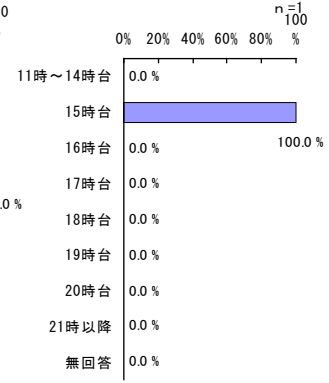
② 1日当たり時間



③ 開始時間

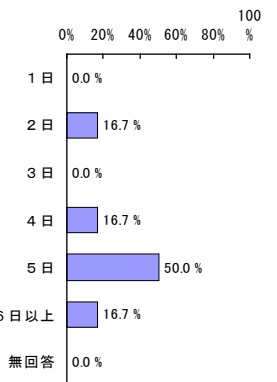


④ 終了時間

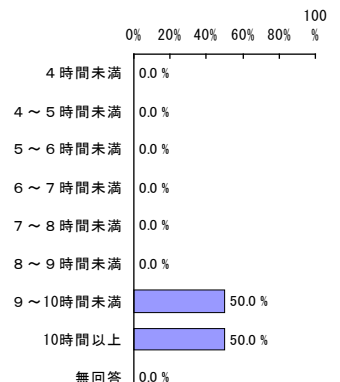


〔事業所内保育施設〕 (n=6)

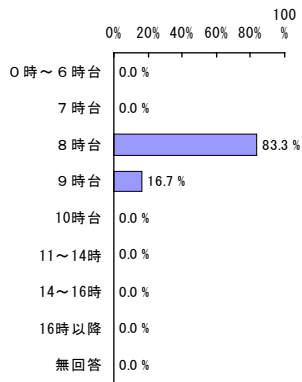
① 1週当たり日数



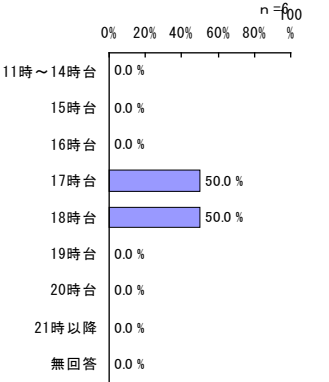
② 1日当たり時間



③ 開始時間

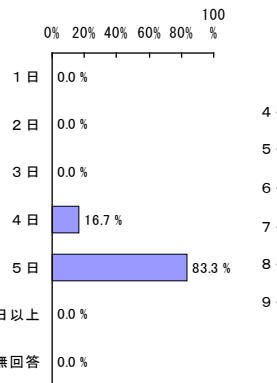


④ 終了時間

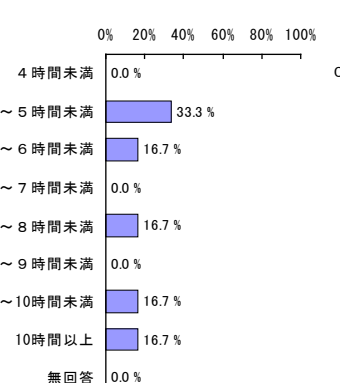


〔その他の認可外の保育施設〕 (n=6)

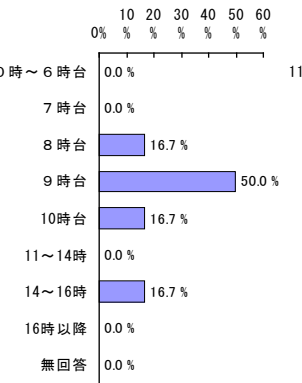
① 1週当たり日数



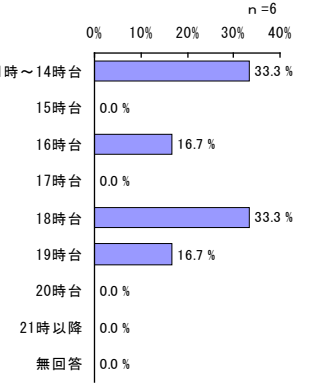
② 1日当たり時間



③ 開始時間

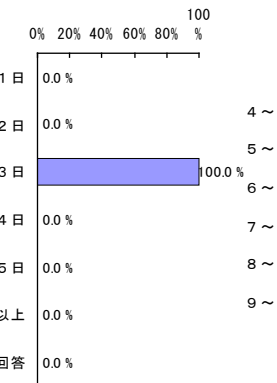


④ 終了時間

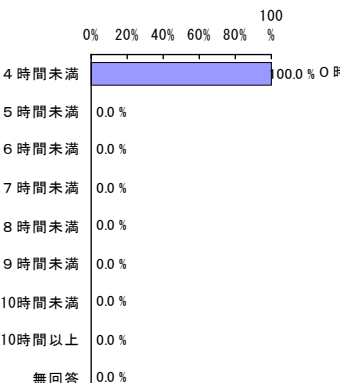


〔ファミリー・サポート・センター〕 (n=1)

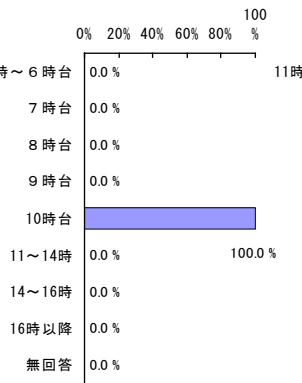
① 1週当たり日数



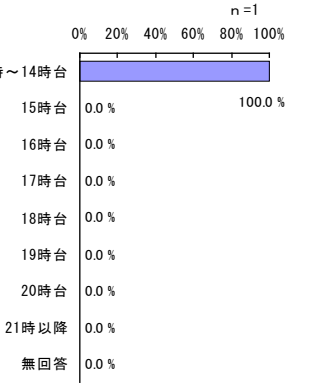
② 1日当たり時間



③ 開始時間

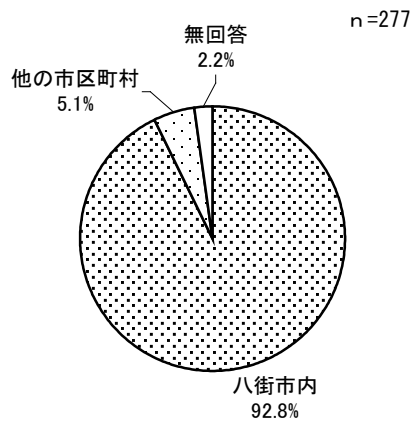


④ 終了時間



(3) 実施場所

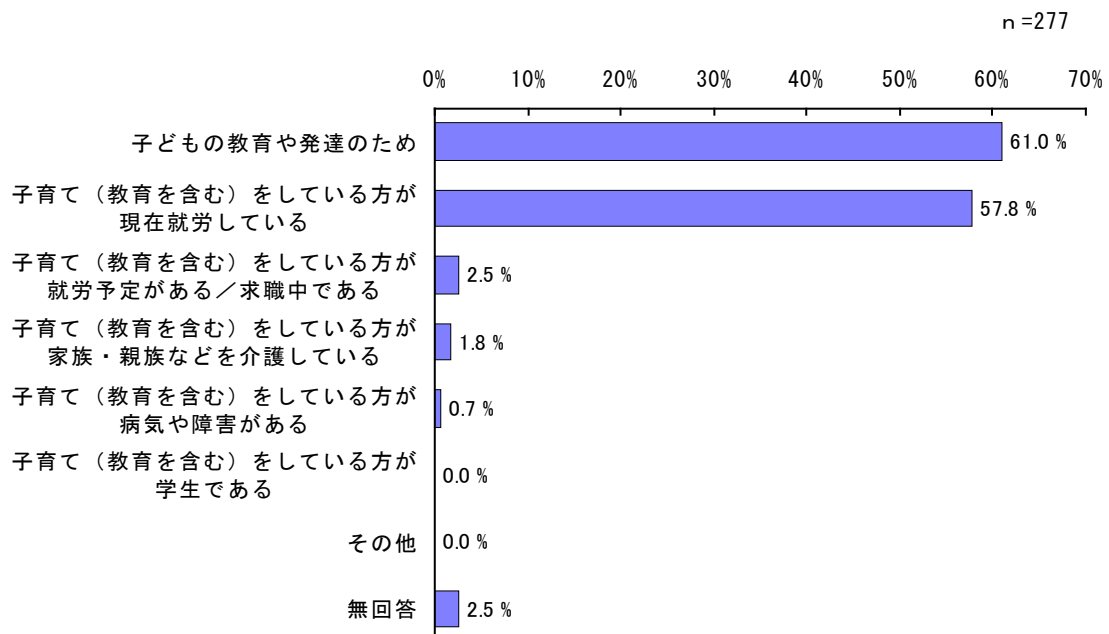
問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「八街市内」92.8%が9割を超えて多く、「他の市区町村」は5.1%である。

(4) 利用している理由

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している理由は「子どもの教育や発達のため」61.0%、「子育てをしている方が現在就労している」57.8%がいずれも6割前後で多くなっています。

〔年齢別クロス集計〕

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	子どもの教育 や発達のため	子育て(教育 を含む)をして いる方が現在 就労している	子育て(教育 を含む)をして いる方が就 労予定がある ／求職中である	子育て(教育 を含む)をして いる方が家族・ 親族などを 介護している	子育て(教育 を含む)をして いる方が病 気や障害がある	子育て(教育 を含む)をして いる方が学 生である	その他	無回答
合計	277 100.0	169 61.0	160 57.8	7 2.5	5 1.8	2 0.7	0 0.0	0 0.0	7 2.5
新生児	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
0歳	6 100.0	1 16.7	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1歳	20 100.0	5 25.0	17 85.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0
2歳	28 100.0	9 32.1	22 78.6	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.1
3歳	50 100.0	21 42.0	39 78.0	1 2.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0
4歳	87 100.0	67 77.0	36 41.4	1 1.1	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1
5歳	79 100.0	60 75.9	38 48.1	3 3.8	2 2.5	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している理由を年齢別でみると、「子どもの教育や発達のため」は、4歳と5歳でいずれも7割台と高い。「子育てをしている方が現在就労している」は、0歳から3歳のいずれも7割以上と高い。

〔問 15-1 現在利用している事業とのクロス集計〕

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

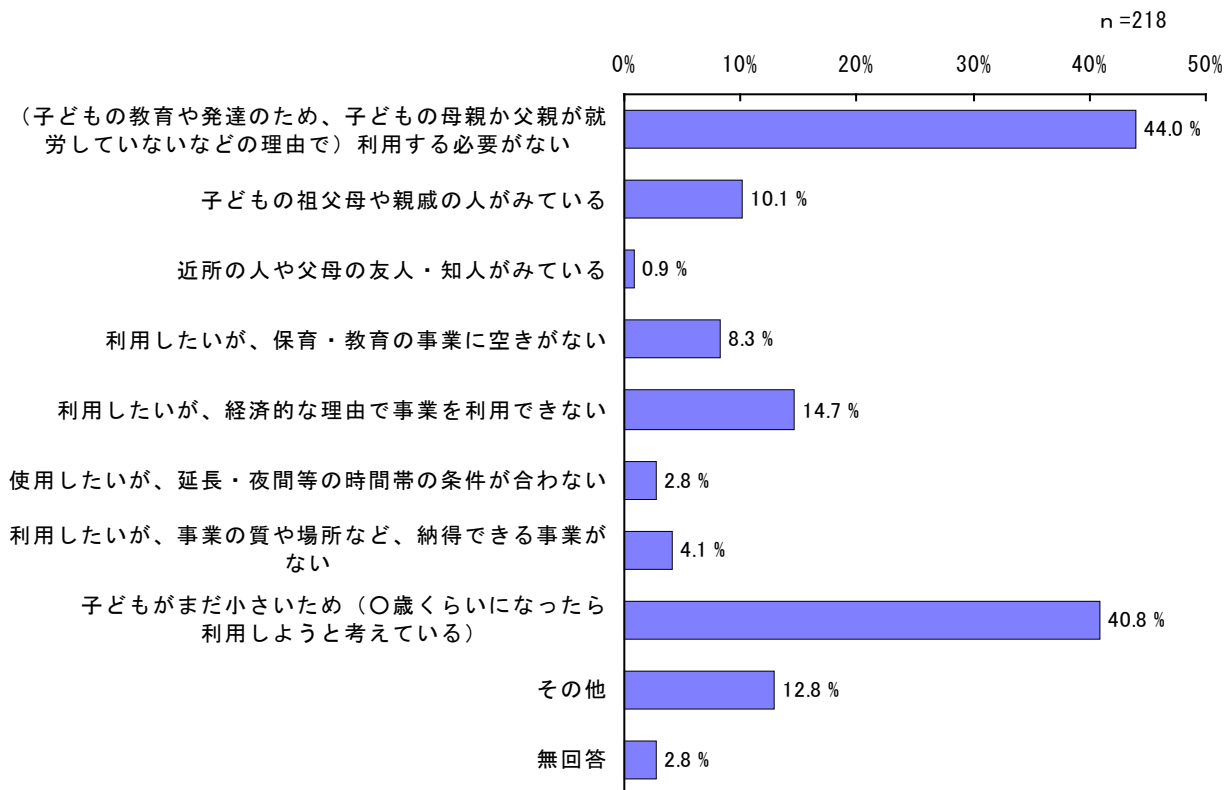
	全体	子どもの教育 や発達のため	子育て(教育 を含む)をして いる方が現在 就労している	子育て(教育 を含む)をして いる方が就 労予定がある ／求職中である	子育て(教育 を含む)をして いる方が家族・ 親族などを 介護している	子育て(教育 を含む)をして いる方が病 気や障害がある	子育て(教育 を含む)をして いる方が学 生である	その他	無回答
合計	277 100.0	169 61.0	160 57.8	7 2.5	5 1.8	2 0.7	0 0.0	0 0.0	7 2.5
幼稚園	127 100.0	124 97.6	30 23.6	0 0.0	3 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
幼稚園の預かり 保育	20 100.0	16 80.0	6 30.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0
認可保育所	127 100.0	36 28.3	118 92.9	6 4.7	2 1.6	2 1.6	0 0.0	0 0.0	2 1.6
家庭的保育	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
事業所内保育 施設	6 100.0	1 16.7	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他の認可 外の保育施設	6 100.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
居宅訪問型 保育	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ファミリー・サポート ・センター	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	8 100.0	7 87.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している理由を、現在利用している事業別にみると、「幼稚園」では、「子どもの教育や発達のため」が97.6%で最も多い。「認可保育所」では、「子育てをしている方が現在就労している」が92.9%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」28.3%である。

(5) 利用していない理由

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○平日、定期的に教育・保育事業を利用していない人にその理由をたずねたところ、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」44.0%、「子どもがまだ小さいため」40.8%がいずれも4割台で多く、次いで「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」14.7%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」10.1%などである。

〔年齢別クロス集計〕

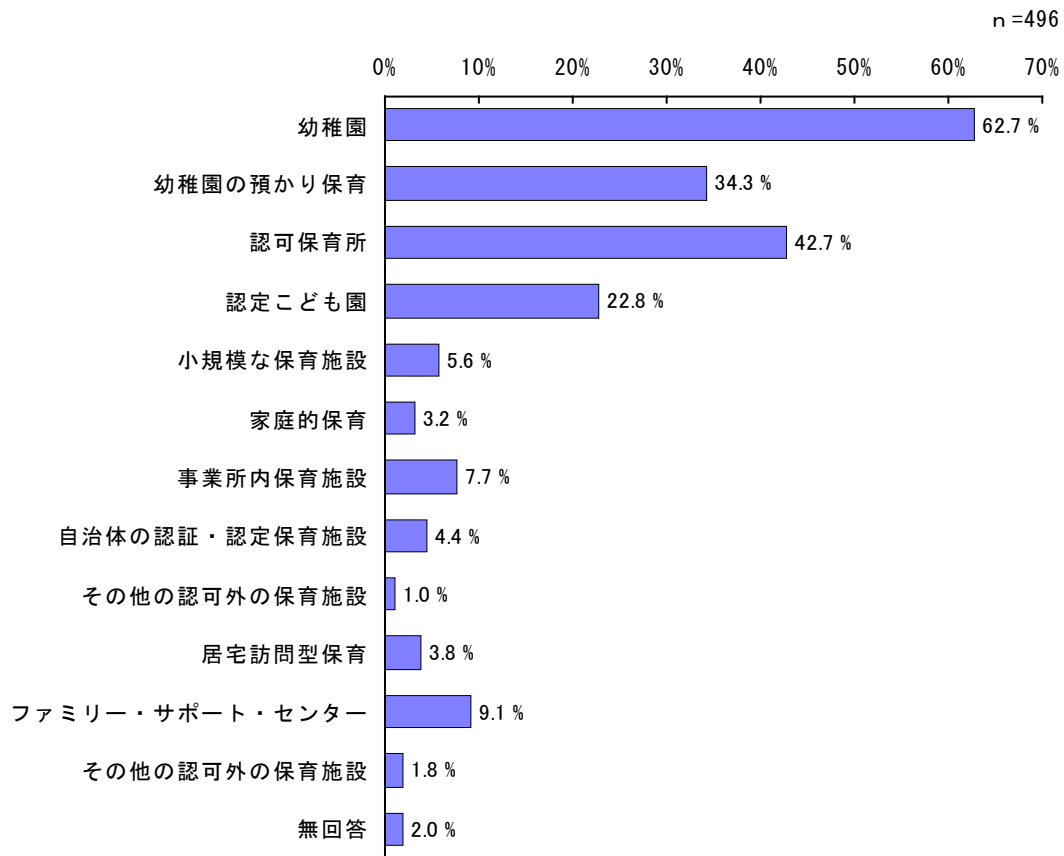
		* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)									
	全体	(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため(○歳くらいになったら利用しようと考えている)	その他	無回答
合計	218	96	22	2	18	32	6	9	89	28	6
	100.0	44.0	10.1	0.9	8.3	14.7	2.8	4.1	40.8	12.8	2.8
新生児	39	16	5	0	2	3	0	0	27	0	1
	100.0	41.0	12.8	0.0	5.1	7.7	0.0	0.0	69.2	0.0	2.6
0歳	66	30	3	0	9	12	3	4	35	7	2
	100.0	45.5	4.5	0.0	13.6	18.2	4.5	6.1	53.0	10.6	3.0
1歳	40	21	8	1	2	4	1	0	14	2	0
	100.0	52.5	20.0	2.5	5.0	10.0	2.5	0.0	35.0	5.0	0.0
2歳	46	22	5	1	5	9	1	3	10	7	2
	100.0	47.8	10.9	2.2	10.9	19.6	2.2	6.5	21.7	15.2	4.3
3歳	22	6	1	0	0	2	1	0	2	11	1
	100.0	27.3	4.5	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	9.1	50.0	4.5
4歳	3	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
5歳	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

○事業を利用していない理由を年齢別にみると、「子どもがまだ小さいため」は「新生児」69.2%、「0歳」53.0%に多く、「利用する必要がない」は新生児から2歳にかけていずれも4割から5割にのぼる。

(6) 希望の教育・保育事業

問 16 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。



○今後、定期的に利用したい事業は、「幼稚園」62.7%が6割を超えて最も多く、次いで「認可保育所」42.7%、「幼稚園の預かり保育」34.3%、「認定こども園」22.8%、「ファミリー・サポート・センター」9.1%、「事業所内保育施設」7.7%などである。

〔年齢別クロス集計〕

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	幼稚園	幼稚園 の預かり保育	認可保 育所	認定こ ども園	小規模 な保育 施設	家庭的 保育	事業所 内保育 施設	自治体 の認 証・認 定保育 施設	その他 の認可 外の保 育施設	居宅訪 問型保 育	ファミ リー・ サポー ト・セ ンター	その他 の認可 外の保 育施設	無回答
合計	496 100.0	311 62.7	170 34.3	212 42.7	113 22.8	28 5.6	16 3.2	38 7.7	22 4.4	5 1.0	19 3.8	45 9.1	9 1.8	10 2.0
新生児	41 100.0	27 65.9	15 36.6	22 53.7	9 22.0	2 4.9	0 0.0	4 9.8	2 4.9	1 2.4	3 7.3	7 17.1	1 2.4	1 2.4
0歳	72 100.0	50 69.4	26 36.1	35 48.6	18 25.0	7 9.7	6 8.3	7 9.7	5 6.9	1 1.4	2 2.8	5 6.9	0 0.0	1 1.4
1歳	60 100.0	35 58.3	20 33.3	24 40.0	14 23.3	4 6.7	2 3.3	4 6.7	3 5.0	1 1.7	0 0.0	6 10.0	0 0.0	3 5.0
2歳	74 100.0	48 64.9	26 35.1	33 44.6	22 29.7	6 8.1	1 1.4	8 10.8	6 8.1	0 0.0	1 1.4	8 10.8	2 2.7	2 2.7
3歳	72 100.0	33 45.8	10 13.9	32 44.4	15 20.8	4 5.6	3 4.2	3 4.2	1 1.4	1 1.4	4 5.6	6 8.3	1 1.4	1 1.4
4歳	90 100.0	65 72.2	38 42.2	28 31.1	12 13.3	1 1.1	1 1.1	5 5.6	4 4.4	0 0.0	2 2.2	4 4.4	3 3.3	1 1.1
5歳	82 100.0	48 58.5	32 39.0	38 46.3	23 28.0	4 4.9	3 3.7	7 8.5	1 1.2	1 1.2	6 7.3	9 11.0	2 2.4	1 1.2

○今後、定期的に利用したい事業を年齢別にみると、「新生児」は「幼稚園」65.9%が最も多く、次いで「認可保育所」53.7%、「幼稚園の預かり保育」36.6%である。

「0歳」は、「幼稚園」69.4%が最も多く、次いで「認可保育所」48.6%、「幼稚園の預かり保育」36.1%などである。

「1歳」は、「幼稚園」58.3%が最も多く、次いで「認可保育所」40.0%、「幼稚園の預かり保育」33.3%などである。

「2歳」は、「幼稚園」64.9%が最も多く、次いで「認可保育所」44.6%、「幼稚園の預かり保育」35.1%などである。

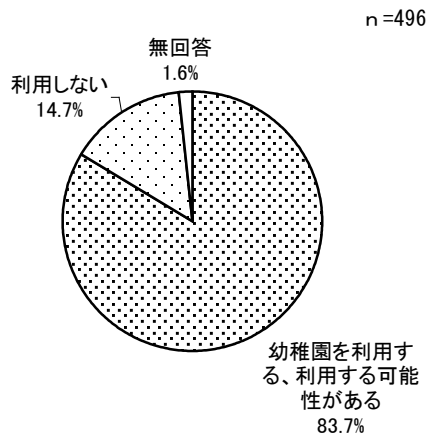
「3歳」は、「幼稚園」45.8%、「認可保育所」44.4%がいずれも同程度で多く、次いで「認定こども園」20.8%などである。

「4歳」は、「幼稚園」72.2%が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」42.2%、「認可保育所」31.1%などである。

「5歳」は、「幼稚園」58.5%が最も多く、次いで「認可保育所」46.3%、「幼稚園の預かり保育」39.0%などである。

(7) 幼稚園の時間外保育の希望

問 16-1 今後、幼稚園の時間外保育がより充実すれば、フルタイムまたはパートタイマー（月に数日程度の勤務も含む）などの就労状況に関わらず幼稚園を利用しようと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○今後、幼稚園の時間外保育がより充実すれば、フルタイムまたはパートタイマーなどの就労状況に関わらず「幼稚園を利用する、利用する可能性がある」が 83.7% と 8 割を超えて多く、「利用しない」は 14.7% である。

〔年齢別クロス集計〕

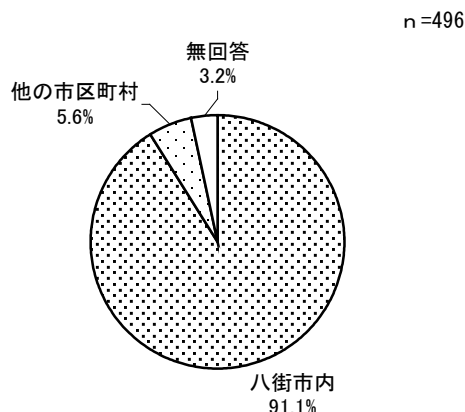
* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	幼稚園を利用する、 利用する可能性がある	利用しない	無回答
合計	496 100.0	415 83.7	73 14.7	8 1.6
新生児	41 100.0	37 90.2	4 9.8	0 0.0
0 歳	72 100.0	63 87.5	9 12.5	0 0.0
1 歳	60 100.0	50 83.3	9 15.0	1 1.7
2 歳	74 100.0	65 87.8	8 10.8	1 1.4
3 歳	72 100.0	55 76.4	14 19.4	3 4.2
4 歳	90 100.0	75 83.3	13 14.4	2 2.2
5 歳	82 100.0	66 80.5	15 18.3	1 1.2

○年齢別でみると、「幼稚園を利用する、利用する可能性がある」は、新生児から 2 歳のいずれにおいても 9 割前後、3 歳で 7 割半ば、4 歳及び 5 歳は 8 割強である。

(8) 希望の実施場所

問 16-2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

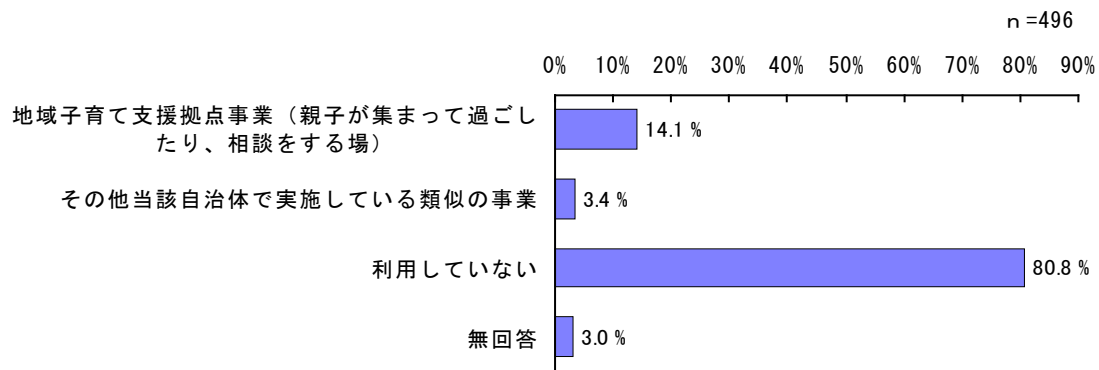


○教育・保育事業を利用したい場所は、「八街市内」91.1% が 9 割を超えて多く、「他の市区町村」は 5.6% である。

5. 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 現在の利用状況

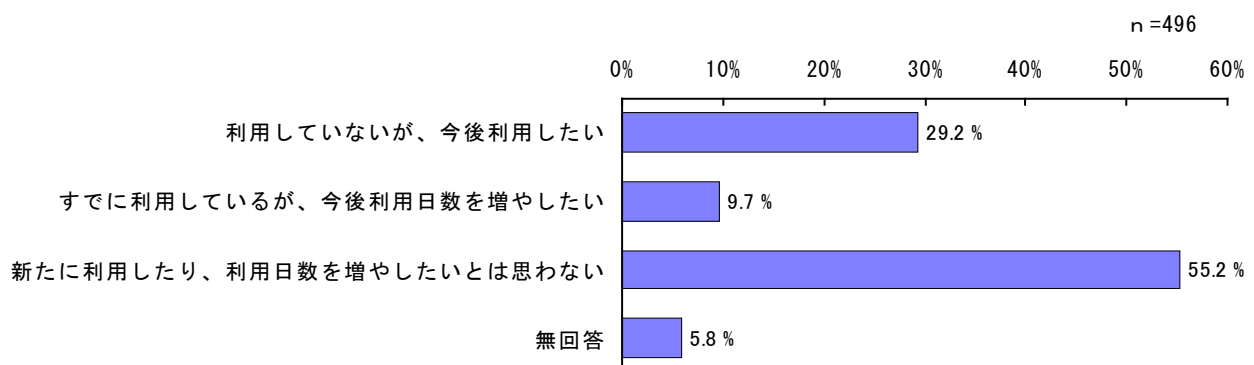
問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○現在、地域子育て支援拠点事業を「利用していない」80.8%が8割と多く、利用している人では、「地域子育て支援拠点事業」が14.1%、「その他自治体で実施している類似の事業」3.4%である。

(2) 今後の利用希望

問 17-1 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望をたずねたところ、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」55.2%が半数を超えて多く、「利用していないが、今後利用したい」29.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」9.7%である。

〔年齢別クロス集計〕

*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
合計	496 100.0	145 29.2	48 9.7	274 55.2	29 5.8
新生児	41 100.0	23 56.1	7 17.1	10 24.4	1 2.4
0歳	72 100.0	35 48.6	11 15.3	23 31.9	3 4.2
1歳	60 100.0	17 28.3	7 11.7	33 55.0	3 5.0
2歳	74 100.0	19 25.7	14 18.9	37 50.0	4 5.4
3歳	72 100.0	14 19.4	4 5.6	48 66.7	6 8.3
4歳	90 100.0	21 23.3	3 3.3	59 65.6	7 7.8
5歳	82 100.0	14 17.1	2 2.4	61 74.4	5 6.1

○地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望を年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は「新生児」が56.1%で半数を超えて多く、「0歳」48.6%、「1歳」28.3%などである。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は、新生児から2歳にかけていずれも1割台である。

〔小学校区別クロス集計〕

*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

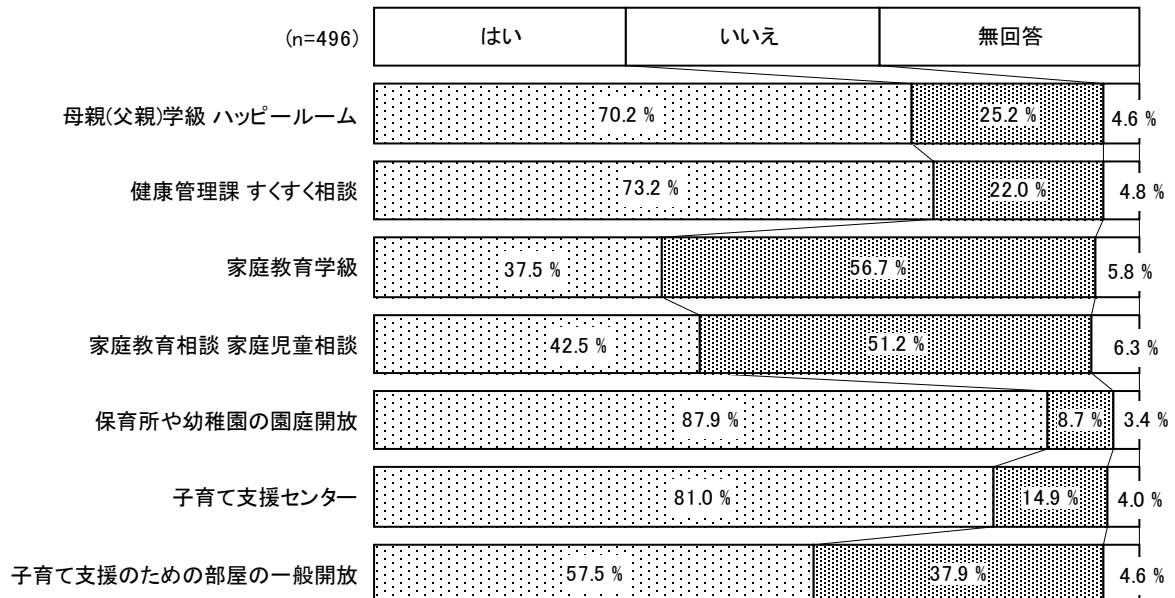
	全体	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
合計	496 100.0	145 29.2	48 9.7	274 55.2	29 5.8
八街東小学校	93 100.0	28 30.1	6 6.5	55 59.1	4 4.3
八街北小学校	52 100.0	13 25.0	9 17.3	29 55.8	1 1.9
実住小学校	105 100.0	33 31.4	10 9.5	54 51.4	8 7.6
交進小学校	33 100.0	7 21.2	2 6.1	22 66.7	2 6.1
笹引小学校	22 100.0	5 22.7	0 0.0	16 72.7	1 4.5
二州小学校	19 100.0	6 31.6	3 15.8	10 52.6	0 0.0
二州小学校沖分校	11 100.0	4 36.4	0 0.0	7 63.6	0 0.0
川上小学校	29 100.0	8 27.6	4 13.8	14 48.3	3 10.3
朝陽小学校	67 100.0	28 41.8	10 14.9	25 37.3	4 6.0

○小学校区別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は、「朝陽小学校」41.8%で4割台、「八街東小学校」30.1%、「実住小学校」31.4%、「二州小学校」31.6%、「二州小学校沖分校」36.4%でいずれも3割台で多くみられた。

(3) 地域子育て支援事業の認知・利用状況、利用希望

問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

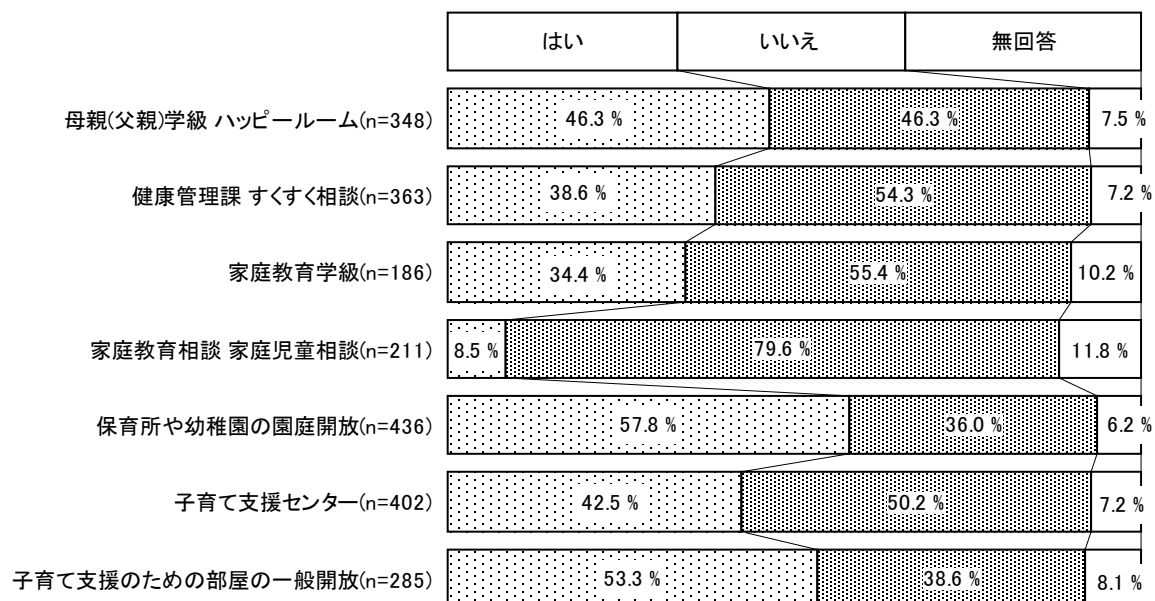
〔A 認知状況〕



○地域子育て支援事業について、認知状況で「はい」（知っている）が「いいえ」（知らない）を上回る事業は、「母親（父親）学級 ハッピールーム」（「はい」70.2%）、「健康管理課 すくすく相談」（「はい」73.2%）、「保育所や幼稚園の園庭開放」（「はい」87.9%）、「子育て支援センター」（「はい」81.0%）、「子育て支援のための部屋の一般開放」（「はい」57.5%）である。

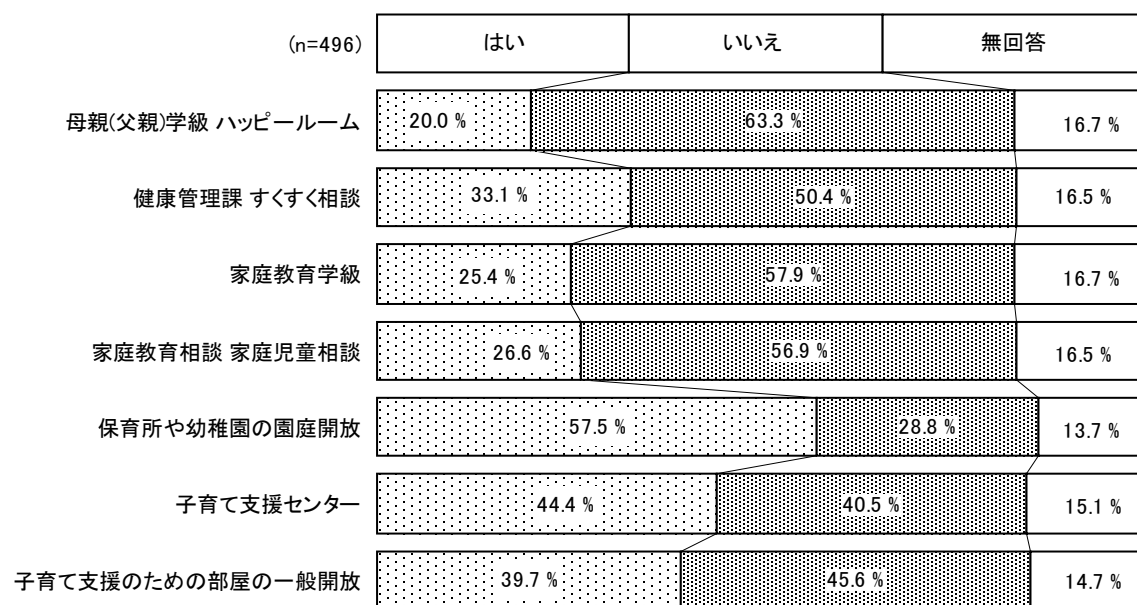
○一方、「いいえ」が「はい」を上回るものは、「家庭教育学級」（「いいえ」56.7%）、「家庭教育相談 家庭児童相談」（「いいえ」51.2%）である。

〔B 利用状況〕



○各地域子育て支援拠点事業について、知っているとは回答した人に、これまでに利用したことがあるかをたずねたところ、「はい」が「いいえ」を上回る事業は、「保育所や幼稚園の園庭開放」（「はい」57.8%）、「子育て支援のための部屋の一般開放」（「はい」53.3%）である。「母親（父親）学級 ハッピールーム」は「はい」と「いいえ」がいずれも46.3%である。

〔C 利用希望〕

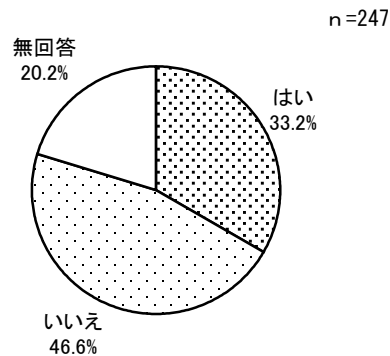


○今後の利用希望について「はい」が「いいえ」を上回る事業は、「保育所や幼稚園の園庭開放」（「はい」57.5%）、「子育て支援センター」（「はい」44.4%）である。

(4) 地域子育て支援事業が充実していた場合の保育園希望

問 19 0歳～2歳のお子さんをお持ちの方にうかがいます。

地域の子育て支援事業が充実していれば、子どもが0歳～2歳の間は保育園に入れなくても良いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



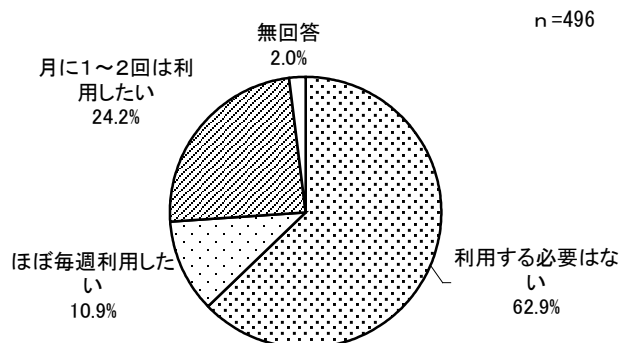
○0歳から2歳の子どもを持つ人に、地域の子育て支援事業が充実していれば、子どもが0歳から2歳の間は保育園に入れなくても良いと思うかどうかたずねたところ、「いいえ」46.6%が「はい」33.2%を10ポイント以上上回っている。

6. 休日の「定期的」な教育・保育事業*の利用希望

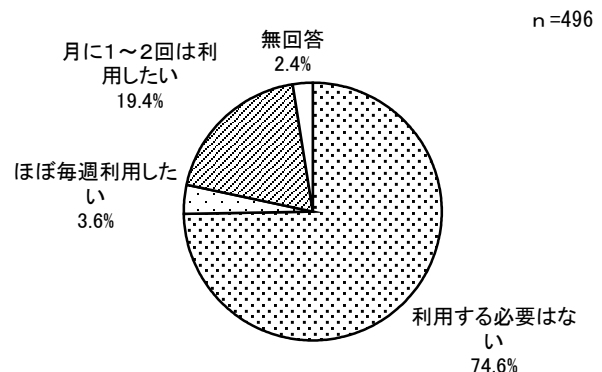
(1) 利用希望

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

〔土曜日〕



〔日曜・祝日〕



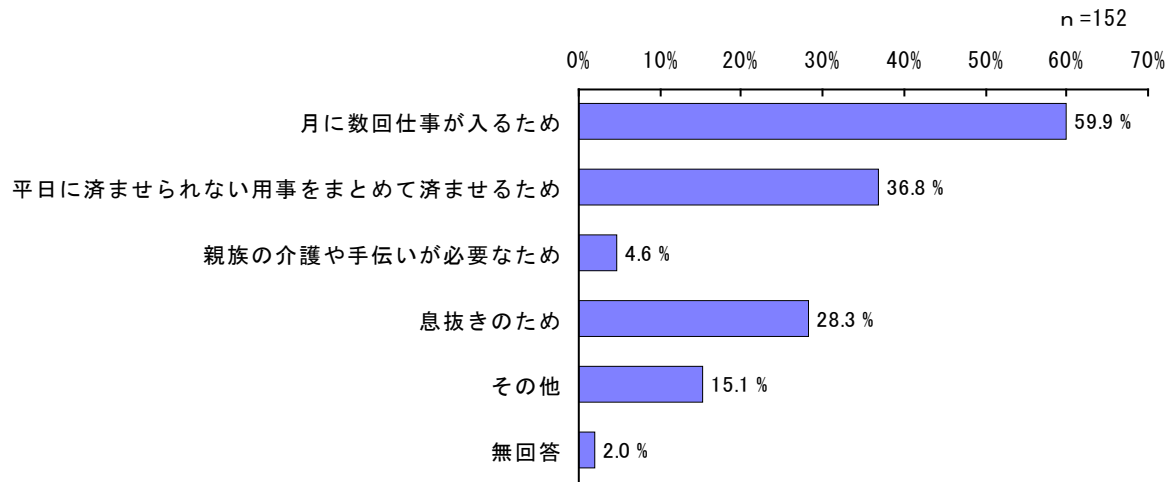
○土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」62.9%が6割を超えて多く、次いで「月に1～2回は利用したい」24.2%、「ほぼ毎週利用したい」10.9%である。

○日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」74.6%、「月に1～2回は利用したい」19.4%、「ほぼ毎週利用したい」3.6%である。

* 幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指すが、親族・知人による預かりは含まない。

(2) たまに利用したい理由

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1 ～ 2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



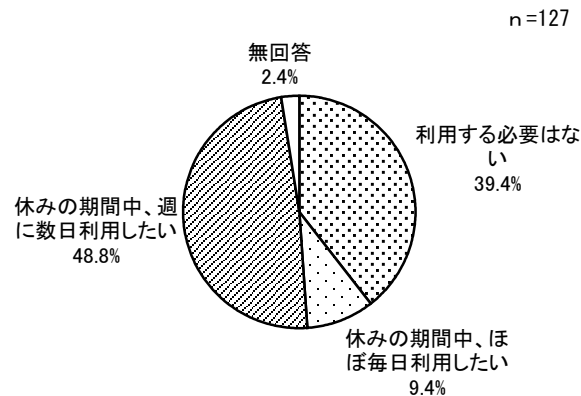
○土曜日、日曜・祝日の利用希望で「月に 1 ～ 2 回は利用したい」と回答した人に、たまに利用したい理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」59.9%が約6割と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」36.8%、「息抜きのため」28.3%、「親族の介護や手伝いが必要なため」4.6%である。

(3) 幼稚園利用者の、長期休暇中の利用希望

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

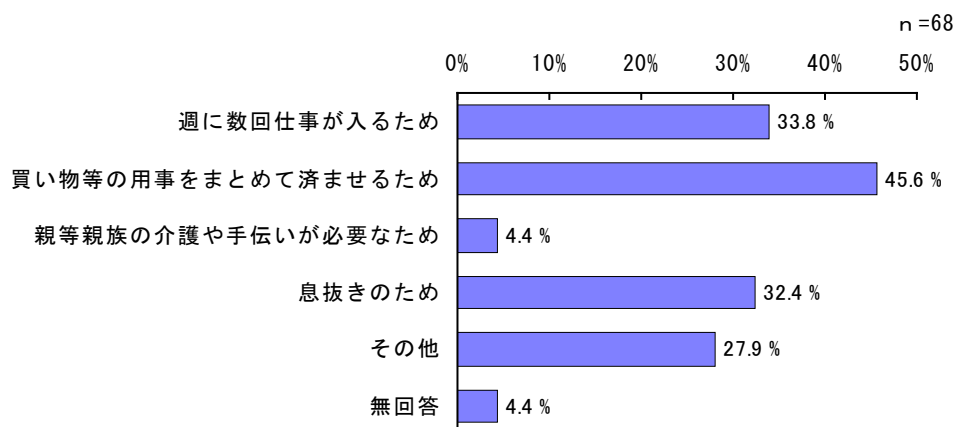


○現在、幼稚園を利用している人に夏休み、冬休みなど長期休暇中の利用希望をたずねたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」48.8%が約半数を占めて多く、「利用する必要はない」39.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」9.4%である。

(4) 幼稚園利用者の、長期休暇中にたまに利用したい理由

問 21-1 問 21 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



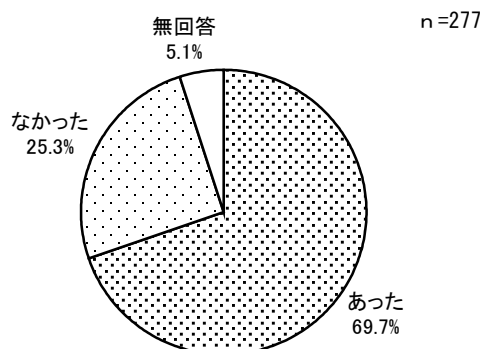
○幼稚園を利用している人で長期休暇中「週に数日利用したい」と回答した人に、たまに利用したい理由をたずねたところ、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」45.6%が最も多く、次いで「週に数回仕事が入るため」33.8%、「息抜きのため」32.4%などである。

7. 病気の際の対応

(1) 病気等で事業が利用できなかったこと

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 23 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。



○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している人に、子どもの病気で利用できなかったことがあるかどうかをたずねたところ、「あった」69.7%、「なかった」25.3%である。

〔年齢別クロス集計〕

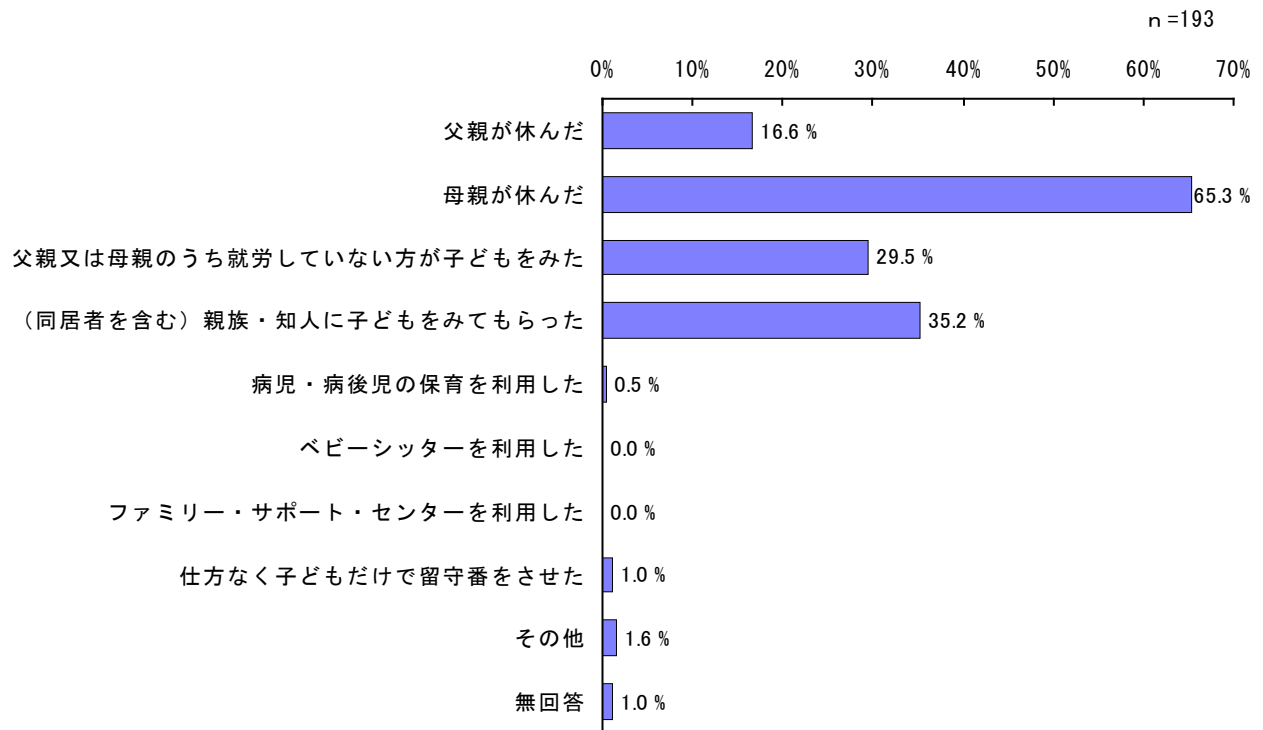
* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	あった	なかった	無回答
合計	277 100.0	193 69.7	70 25.3	14 5.1
新生児	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
0 歳	6 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0
1 歳	20 100.0	13 65.0	5 25.0	2 10.0
2 歳	28 100.0	20 71.4	2 7.1	6 21.4
3 歳	50 100.0	39 78.0	9 18.0	2 4.0
4 歳	87 100.0	55 63.2	29 33.3	3 3.4
5 歳	79 100.0	58 73.4	20 25.3	1 1.3

○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している人に、子どもの病気で利用できなかったことがあった人は、いずれの年代においても 6 割以上を占める。

(2) 対処方法

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。



○平日定期的に利用している事業が子どもの病気で利用できなかった人に、その場合の対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」65.3%が6割を超えて最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」35.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」29.5%、「父親が休んだ」16.6%などである。

〔日数〕

* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
ア. 父親が休んだ	32 100.0	18 56.3	8 25.0	5 15.6	0 0.0	0 0.0	1 3.1
イ. 母親が休んだ	126 100.0	42 33.3	38 30.2	17 13.5	6 4.8	18 14.3	5 4.0
ウ. 父母のうち就労して いない方が子どもをみた	57 100.0	18 31.6	17 29.8	11 19.3	2 3.5	5 8.8	4 7.0
エ. 親族・知人に子どもを みてもらった	68 100.0	26 38.2	23 33.8	10 14.7	1 1.5	6 8.8	2 2.9
オ. 病児・病後児の保育を 利用した	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
カ. ベビーシッターを利用 した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
キ. ファミリー・サポート・ センターを利用した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ク. 仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ケ. その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0

○「父親が休んだ」は、「1～4日」56.3%が最も多く、次いで「5～9日」25.0%、「10～14日」15.6%である。

「母親が休んだ」は、「1～4日」33.3%、「5～9日」30.2%がいずれも3割台と多く、次いで「10～14日」13.5%などである。

「父母のうち就労していない方が子どもをみた」は、「1～4日」31.6%が最も多く、次いで「5～9日」29.8%、「10～14日」19.3%などである。

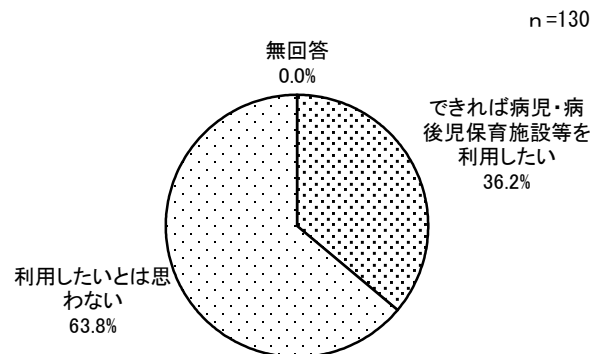
「親族・知人に子どもをみてもらった」は、「1～4日」38.2%、「5～9日」33.8%がいずれも3割台と多く、次いで「10～14日」14.7%などである。

○「20日以上」は、母親が14.3%で多くみられる。

(3) 病児・病後児保育施設の利用希望

問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

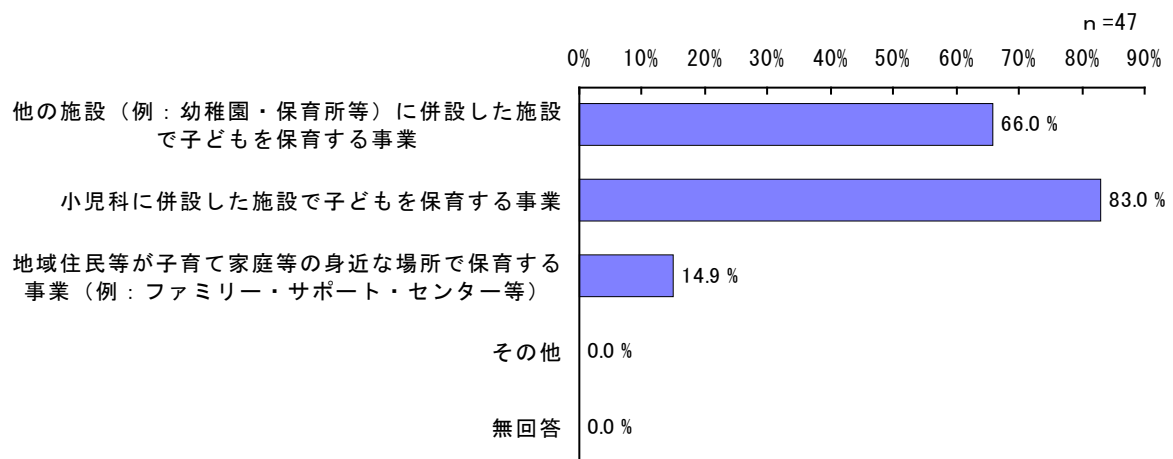


○子どもが病気の時に父親または母親が休んだと回答した人に、その際できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかどうかをたずねたところ、「利用したいとは思わない」63.8%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」36.2%である。

(4) 病児・病後児保育施設で希望する事業形態

問 22-3 問 22-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

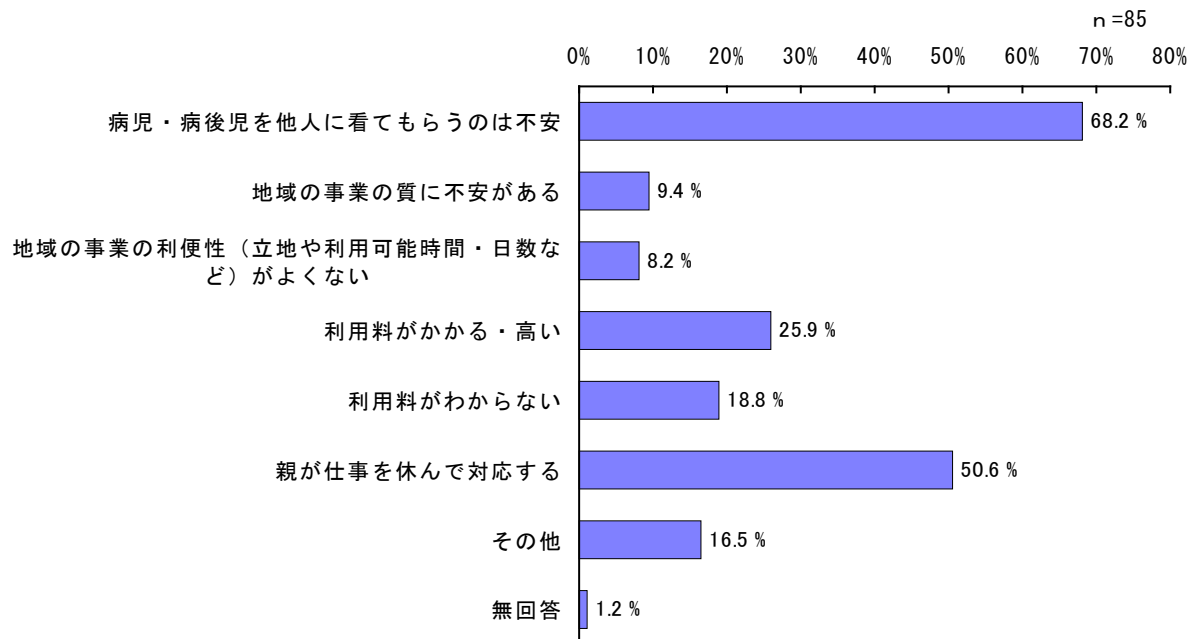
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○子どもが病気で父親または母親が休んだ際にできれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った人に、望ましい事業形態についてたずねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」83.0%が8割を超えて多く、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」66.0%が6割半ば、「地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」14.9%である。

(5) 利用したくない理由

問 22-4 問 22-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

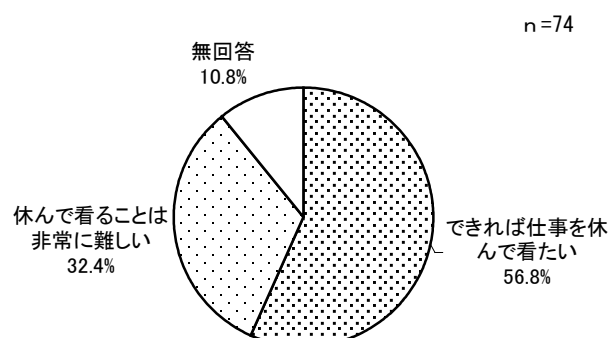


○子どもが病気で父親または母親が休んだ際でも、病児・病後児のための保育施設等は利用したくないと思った人に、その理由をたずねたところ、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」68.2%が7割弱で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」50.6%、「利用料がかかる・高い」25.9%などである。

(6) 父か母が仕事を休んで看たいか

問 22-1 で「エ.親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ.その他」のいずれかに回答した方に
 うかがいます。

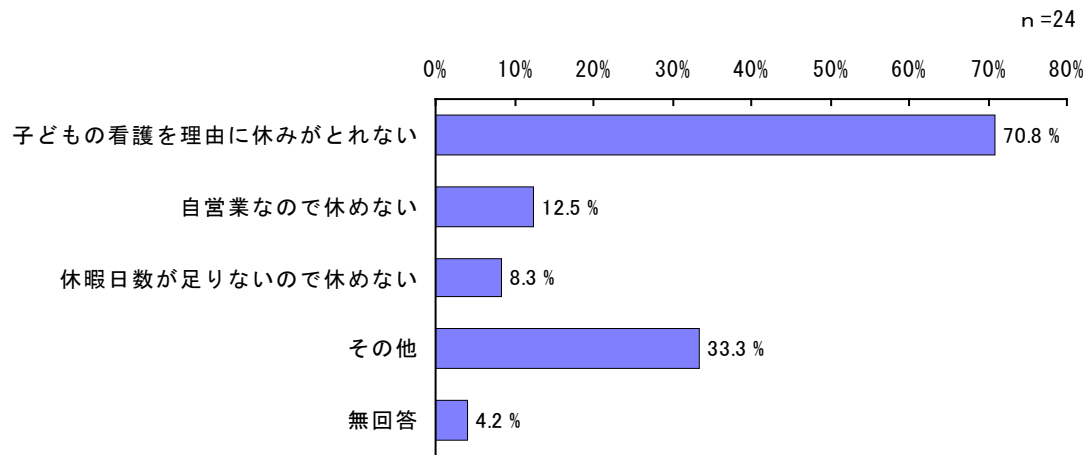
問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○平日定期的に利用している事業が子どもの病気で利用できなかった人で、その際「親族・知人にみてもらった」～「その他」の対処をした人に、できれば父母のいずれかが仕事を休んで見たかったかどうかをたずねたところ、「できれば仕事を休んで看たい」56.8%が半数を超えて多く、「休んで看ることは非常に難しい」32.4%である。

(7) 休んで看ることが難しい理由

問 22-6 問 22-5 で「2.休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○平日定期的に利用している事業が子どもの病気で利用できなかった人で、その際「親族・知人にみてもらった」～「その他」の対処をした人のうち、その際父母のいずれかが仕事を休んでみることは非常に難しいと回答した人に、その理由をたずねたところ、「子どもの看護を理由に休みがとれない」70.8%が最も多く、次いで「自営業なので休めない」12.5%、「休暇日数が足りないので休めない」8.3%などである。

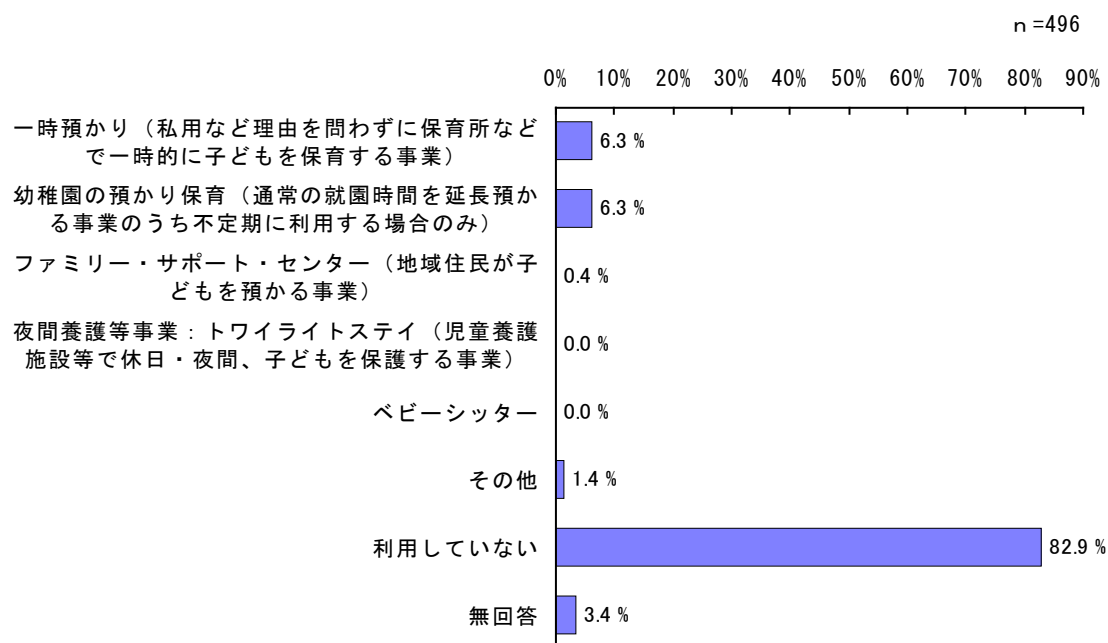
○「その他」33.3%の主な内容は、以下の通りである。

※「その他」の主な内容は、現在まとめている最中です。

8. 一時預かり、宿泊を伴う一時預かり等について

(1) 利用している事業

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

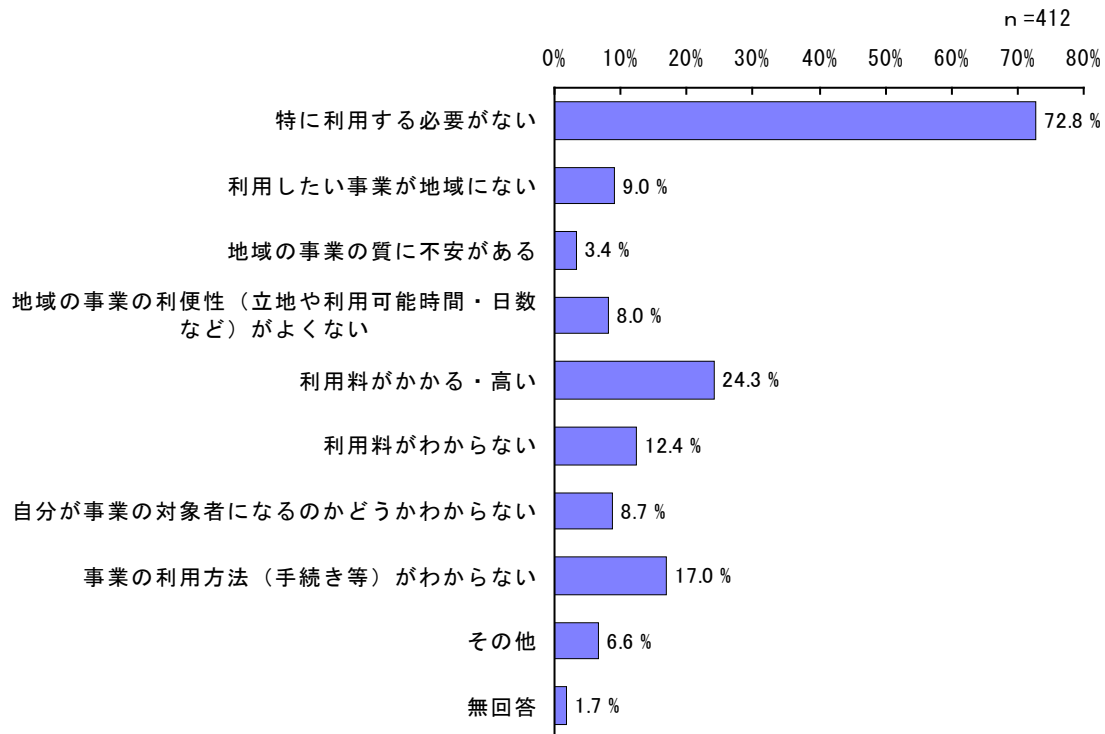


○一時預かりの利用については、「利用していない」82.9%が8割を超えて最も多く、次いで「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」がいずれも6.3%などとなっています。

(2) 利用していない理由

問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

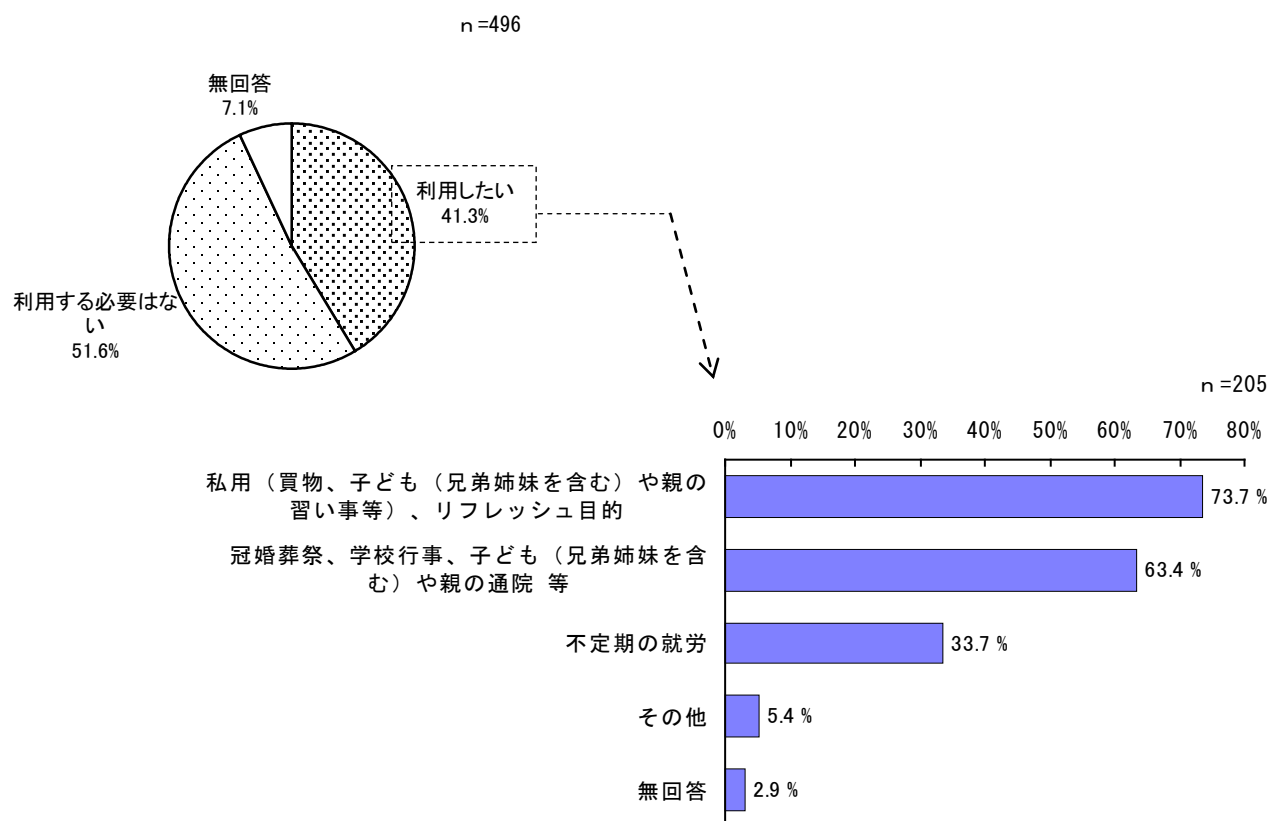
問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○現在、一時預かりを利用していない人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がある」72.8%が7割を超えて最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」24.3%、「事業やりよう方法（手続き等）がわからない」17.0%、「利用料がわからない」12.4%などである。

(3) 一時預かりの利用希望

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



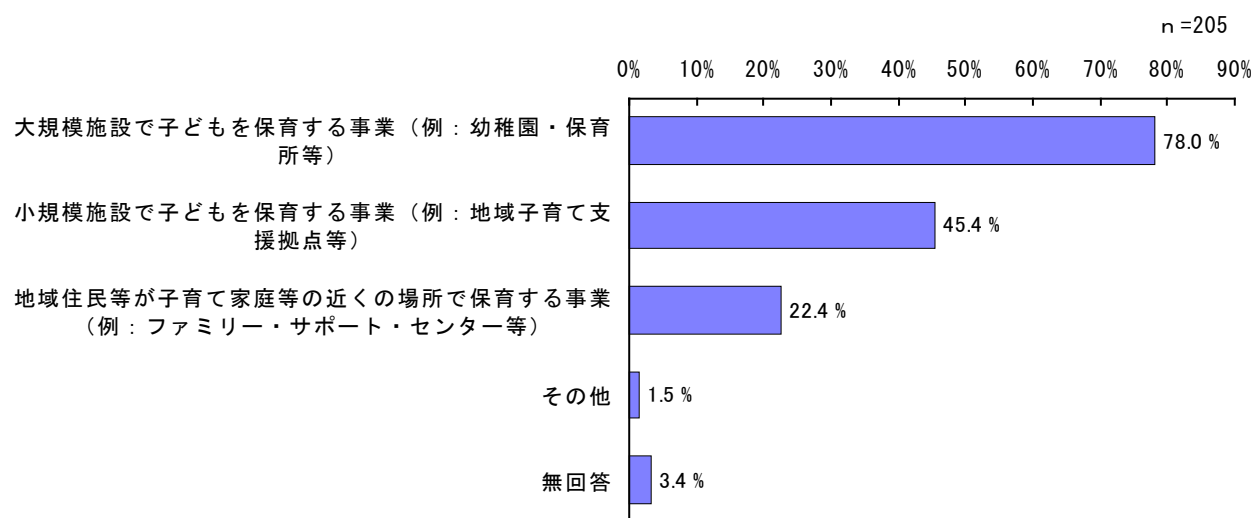
○今後の一時預かりの利用希望は、「利用する必要はない」51.6%、「利用したい」41.3%である。

○今後、一時預かりを利用したい人に具体的な内容をたずねたところ、「私用、リフレッシュ目的」73.7%が7割を超えて最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」63.4%、「不定期の就労」33.7%である。

(4) 希望する事業形態

問 24 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

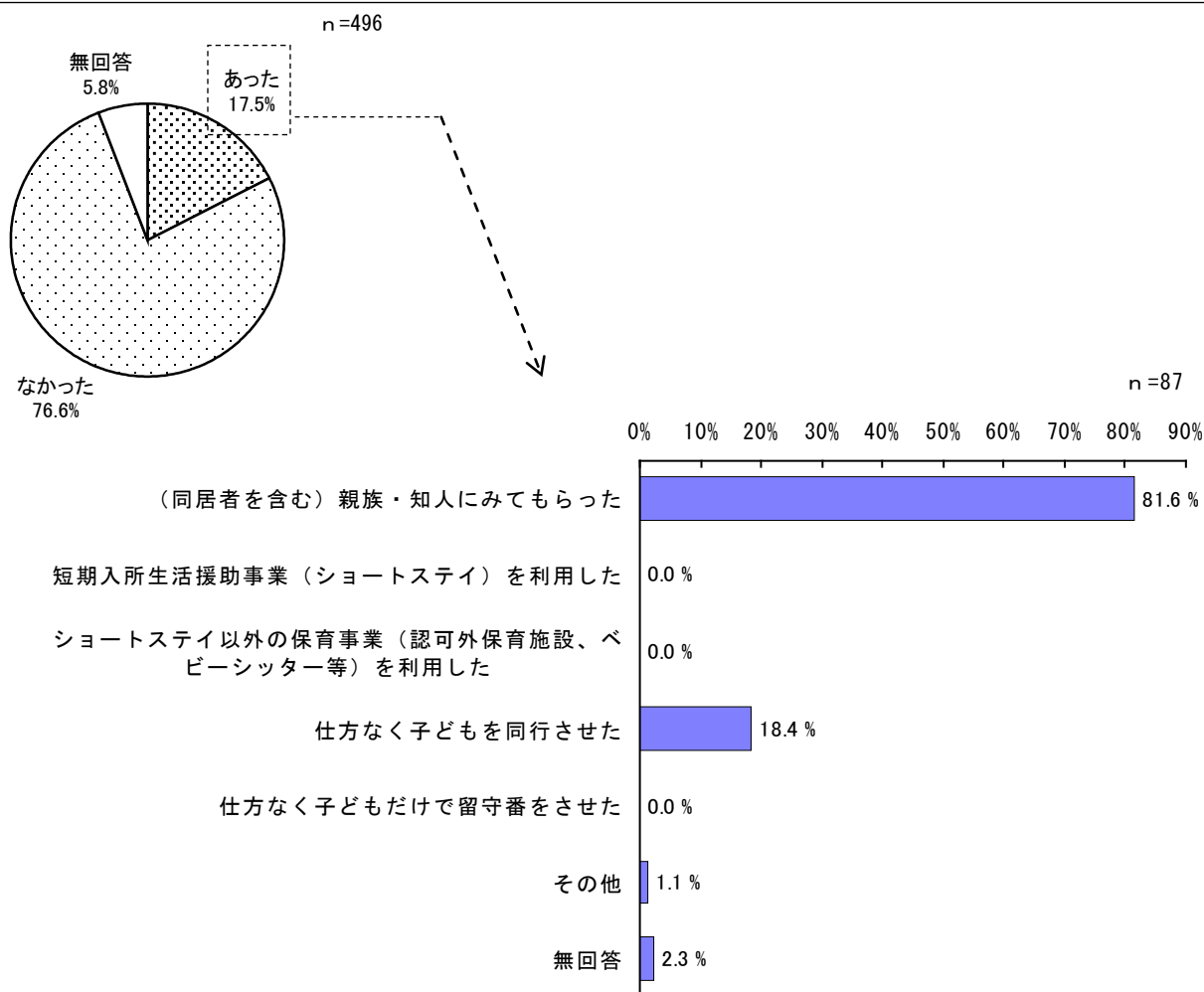
問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○今後、一時預かりを利用したい人に、望ましい事業形態をたずねたところ、「大規模施設で子どもを保育する事業」78.0%が8割弱で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」45.4%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」22.4%などである。

(5) 宿泊を伴う一時預かり

問 25 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号及び記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



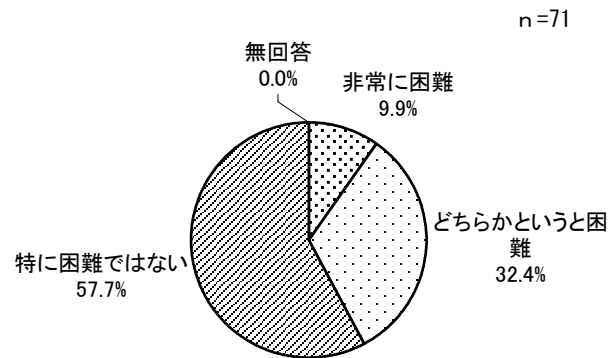
○保護者の用事により子どもを泊まりがけで預けたことが「なかった」76.6%、「あった」17.5%である。

○子どもを泊まりがけで預けたことがあった人のうち、その対処方法は、「親族・知人にみてもらった」81.6%が8割と多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」18.4%などである。

(6) 困難度

問 25 で「1.あった ア.(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

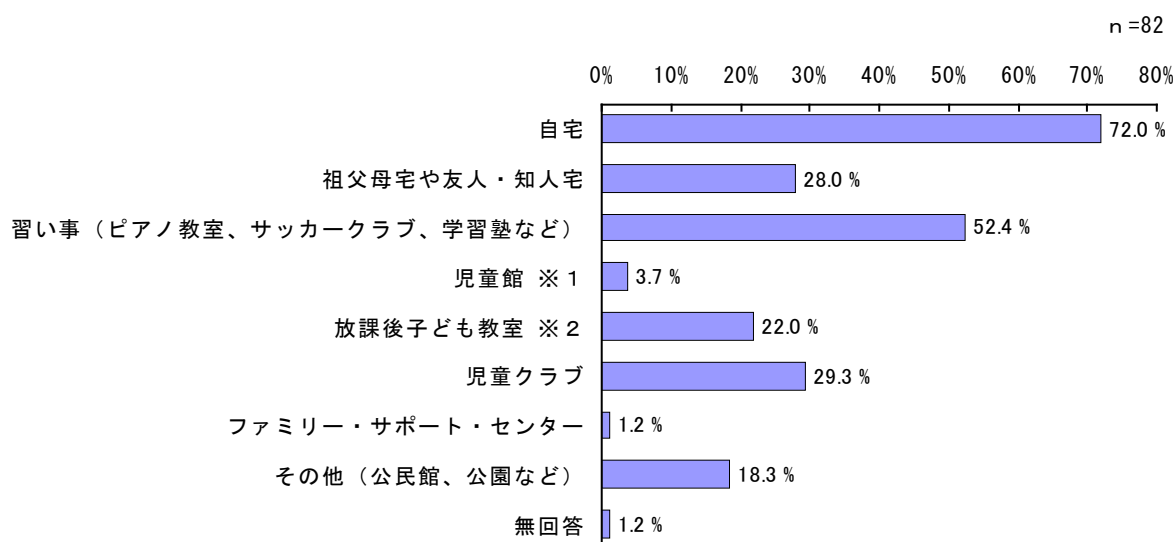


○子どもを泊まりがけで預けたことがあった人で、親族・知人にみてもらった人にその困難度をたずねたところ、「特に困難ではない」57.7%、「どちらかという困難」32.4%、「非常に困難」9.9%である。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方

(1) 希望の低学年の放課後の過ごし方

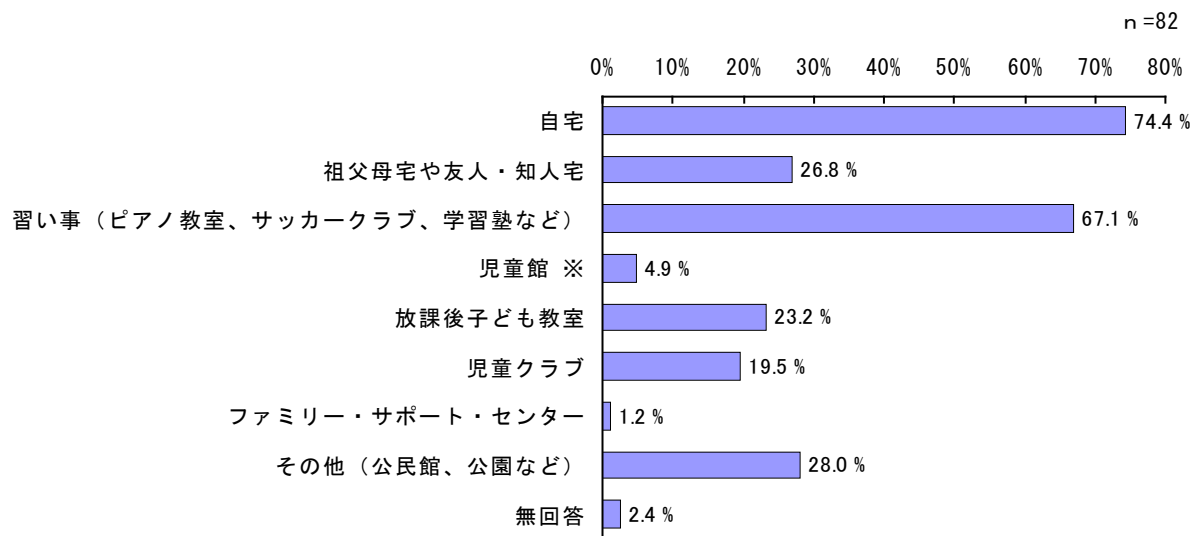
問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○小学校低学年での、希望する放課後の過ごし方は、「自宅」72.0%が最も多く、次いで「習い事」52.4%、「児童クラブ」29.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」28.0%などである。

（２）希望の高学年の放課後の過ごし方

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。



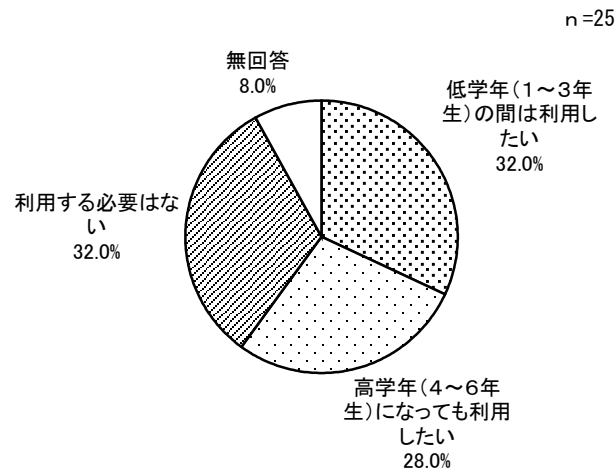
○小学校高学年での、希望する放課後の過ごし方は、「自宅」74.4%が最も多く、次いで「習い事」67.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」26.8%、「放課後子ども教室」23.2%、「児童クラブ」19.5%などである。

(3) 休日の児童クラブの利用希望

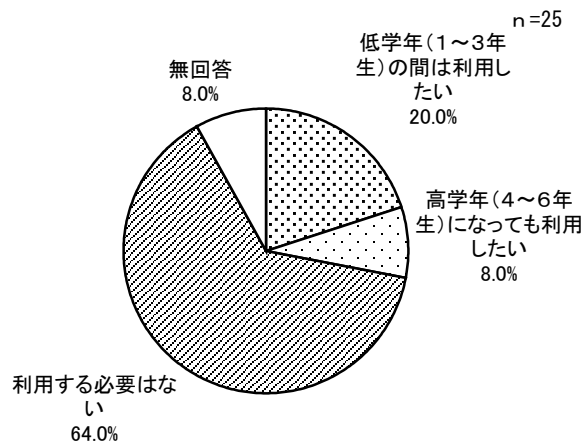
問 26 または問 27 で「6. 児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

〔土曜日〕



〔日曜・祝日〕

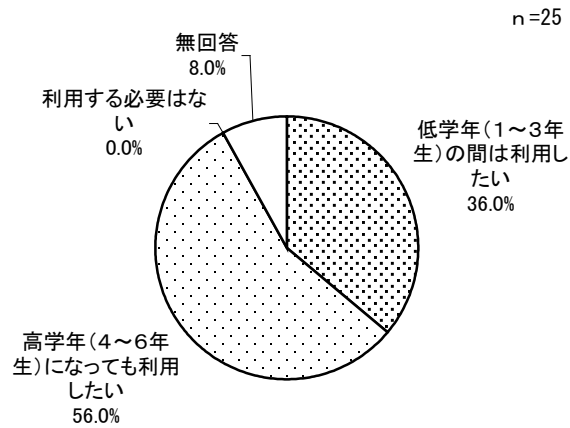


○小学校低学年または高学年の放課後の過ごし方の希望で、「児童クラブ」を回答した人に、土曜日、日曜日・祝日に利用希望があるかどうかをたずねたところ、土曜日については、「低学年(1～3年)の間は利用したい」及び「利用する必要はない」がいずれも32.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」28.0%である。

○日曜日・祝日については、「利用する必要はない」64.0%、「低学年(1～3年)の間は利用したい」20.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」8.0%である。

（４）長期休暇中の児童クラブの利用希望

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）０９時～１８時 のように２４時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。



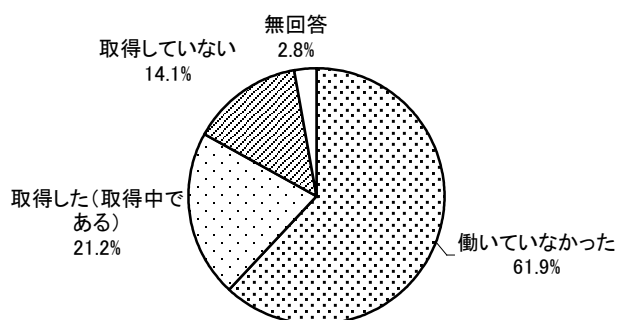
○小学校低学年または高学年の放課後の過ごし方の希望で、「児童クラブ」を回答した人に、長期休暇期間中の児童クラブの利用希望についてたずねたところ、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」56.0%、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」36.0%である。一方、「利用する必要はない」と回答した人はゼロである。

10. 職場の両立支援制度

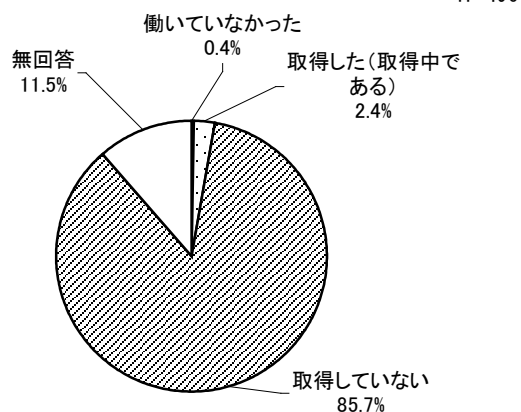
(1) 育児休業制度の利用状況

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入
ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

〔母親〕



〔父親〕



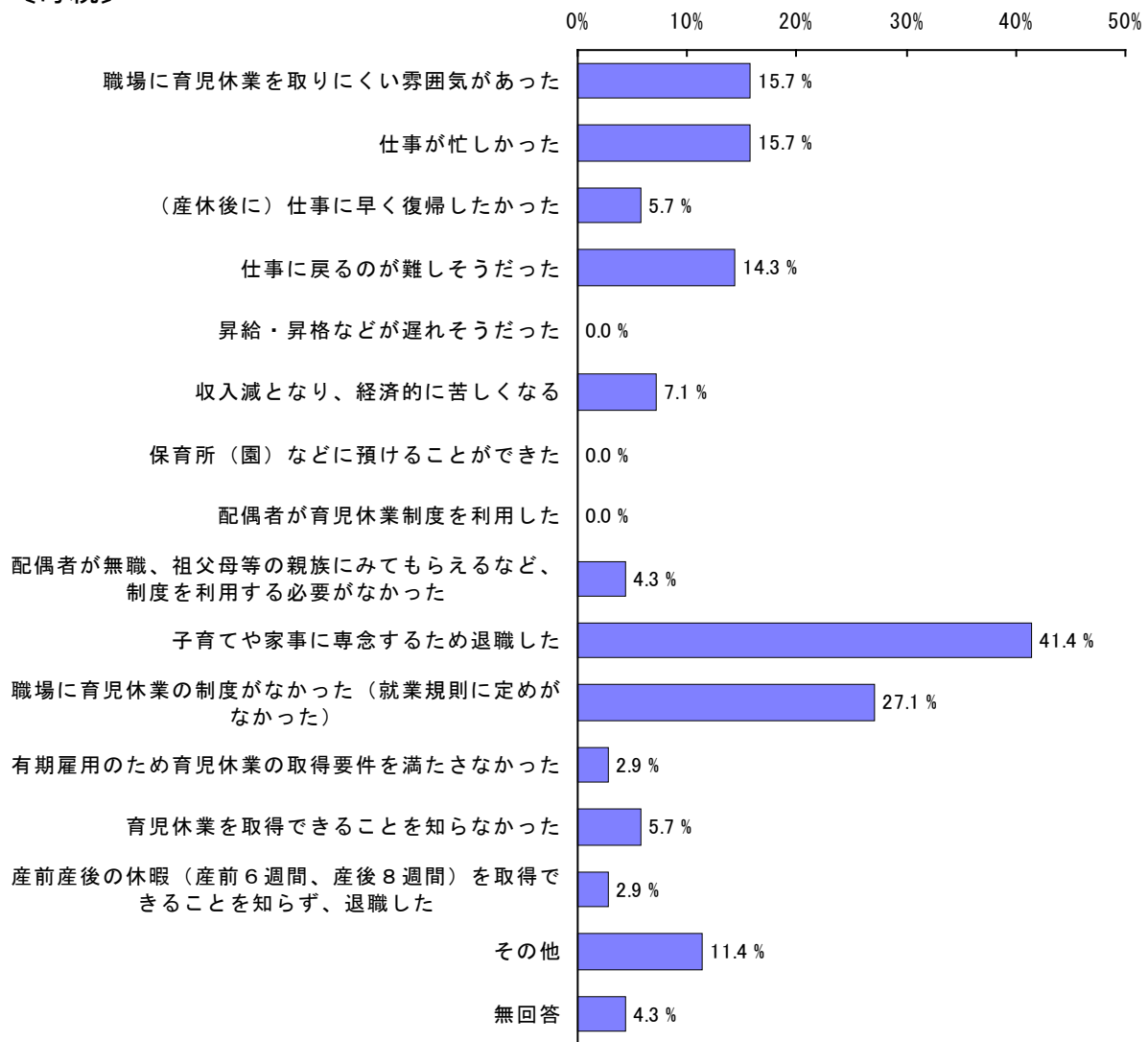
○子どもが生まれた時の、父母の育児休業取得状況は、母親は「働いていなかった」61.9%、「取得した（取得中である）」21.2%、「取得していない」14.1%である。

○父親は、「取得していない」85.7%、「取得した（取得中である）」2.4%、「働いていなかった」0.4%である。

（２）育児休業制度を利用しなかった理由

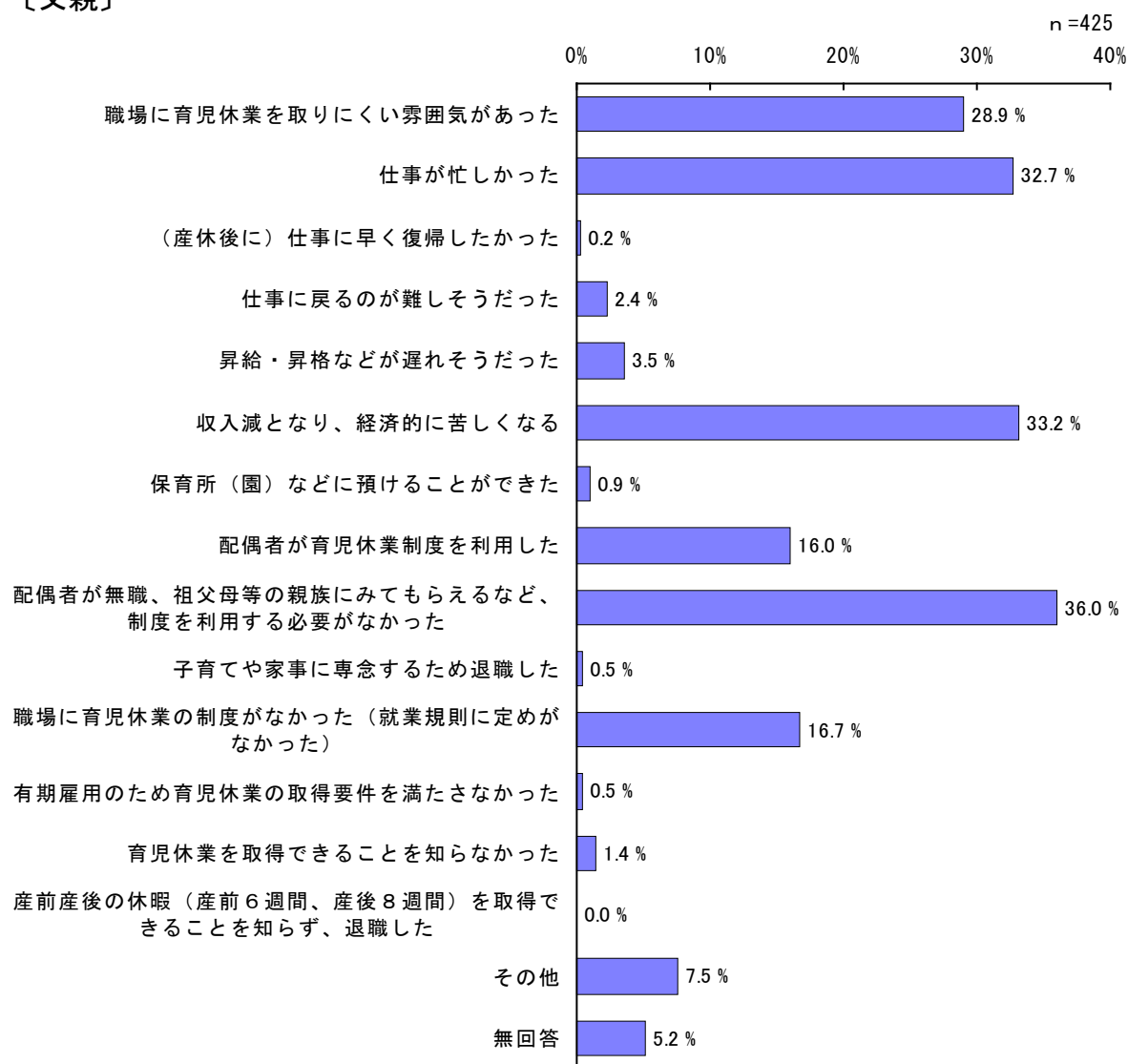
〔母親〕

n=70



○子どもが生まれた時に育児休業制度を取得していない母親に、その理由をたずねたところ、「子育てや家事に専念するため退職した」41.4%が4割で多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」27.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」及び「仕事が忙しかった」がいずれも15.7%、「仕事に戻るのが難しそうだった」14.3%などである。

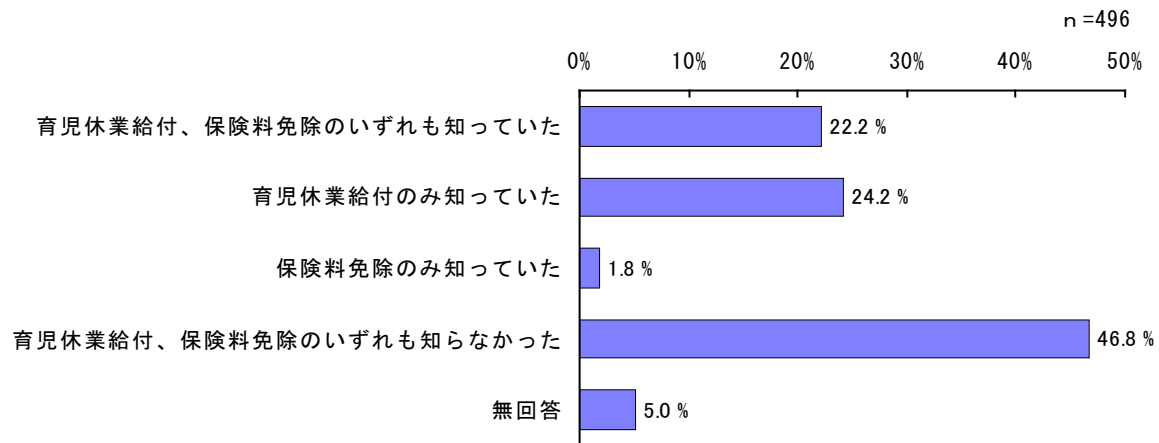
〔父親〕



○子どもが生まれた時に育児休業制度を取得していない父親に、その理由をたずねたところ、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」36.0%、「収入源となり、経済的に苦しくなる」33.2%、「仕事が忙しかった」32.7%がいずれも3割を超えて多く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」28.9%などが続く。

（３）保険料免除の仕組みを知っていたか

問 30-1 子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。



○「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」46.8%が４割半ばで最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」24.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」22.2%、「保険料免除のみ知っていた」1.8%である。

（４）育児休業取得後の職場復帰

問 30 で「2.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

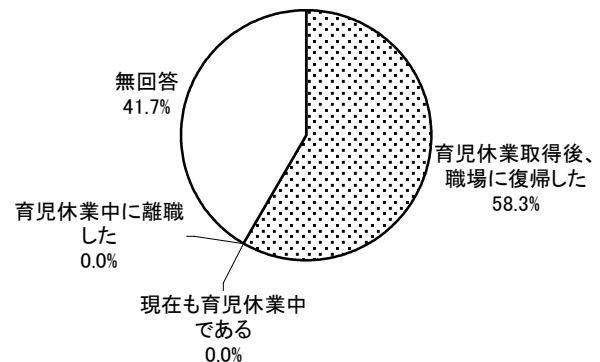
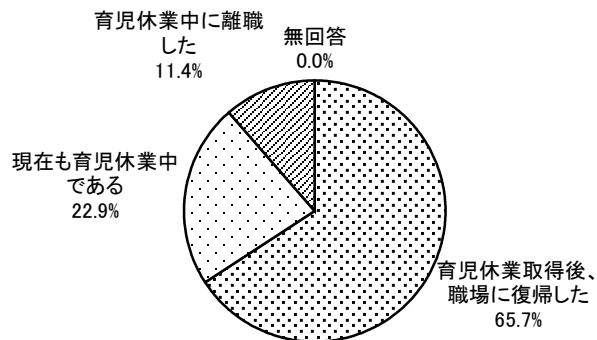
問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

〔母親〕

〔父親〕

n=105

n=12



○育児休業を取得した、取得中である人の職場復帰については、母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」65.7%、「現在も育児休業中である」22.9%、「育児休業中に離職した」11.4%である。
○父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」58.3%、他の回答はゼロである。

（５）職場復帰したタイミング

問 30-2 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

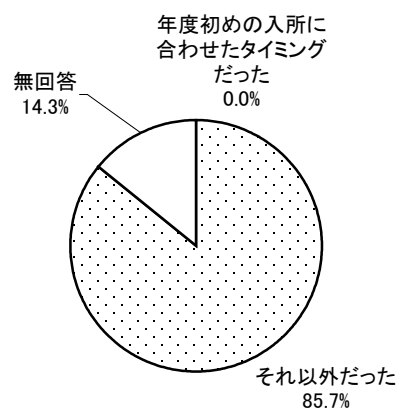
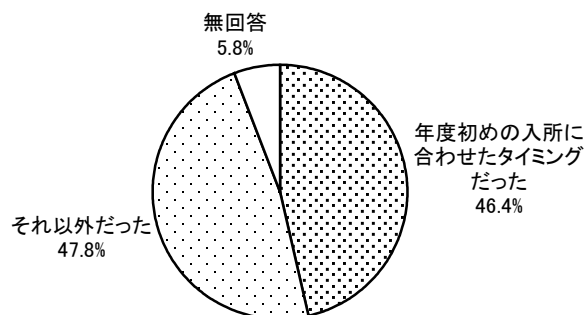
問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

〔母親〕

〔父親〕

n=69

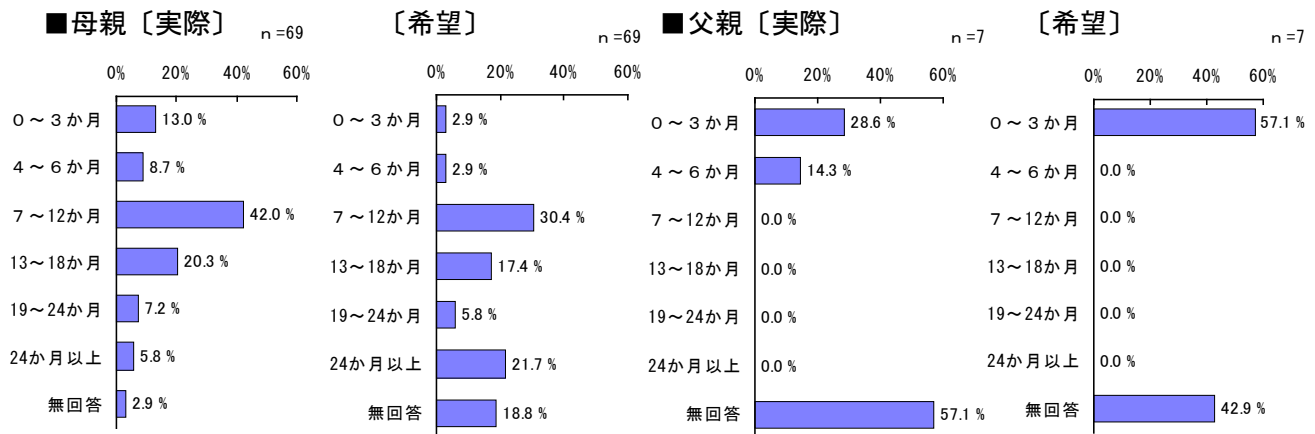
n=7



○育児休業取得後、職場に復帰した人にそのタイミングについてたずねたところ、母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 46.4%、「それ以外だった」が 47.8%と、同程度である。
○父親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」はゼロ、「それ以外だった」は 85.7%である。

(6) 職場復帰した時の子どもの年齢

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



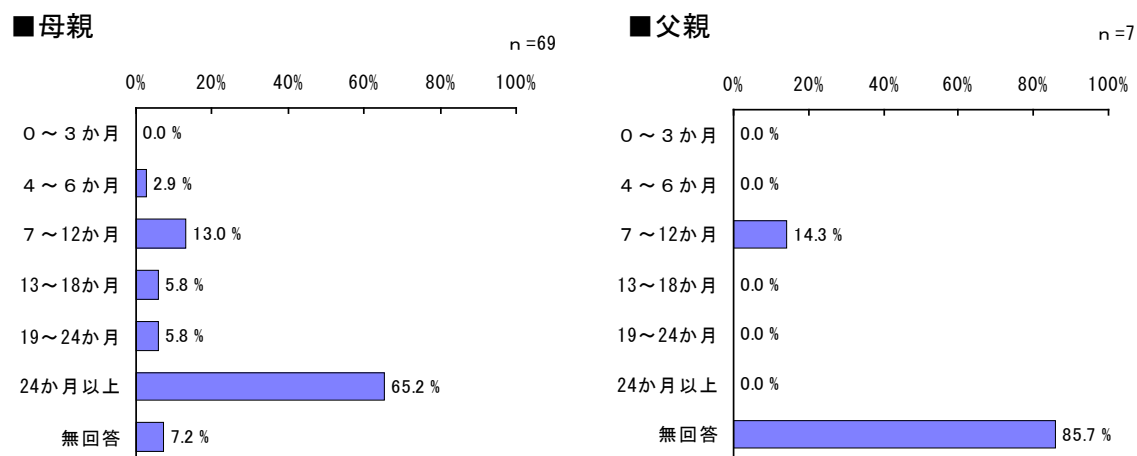
○育児休業取得後、職場に復帰した人で、実際に復帰した子どもの月齢は、母親は「7～12か月」42.0%が4割台と最も多く、次いで「13～18か月」20.3%、「0～3か月」13.0%などである。

母親の希望の復帰時期は、「7～12か月」30.4%が3割と最も多く、ついで「24か月以上」21.7%、「13～18か月」17.4%などである。

○父親が実際に復帰した際の子どもの月齢は、「0～3か月」28.6%、「4～6か月」14.3%である。父親の希望の復帰時期は、「0～3か月」57.1%である。

(7) 希望の復帰時期

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○希望の復帰時期は、母親は「24か月以上」65.2%が最も多く、次いで「7～12か月」13.0%などである。父親は、「7～12か月」14.3%である。

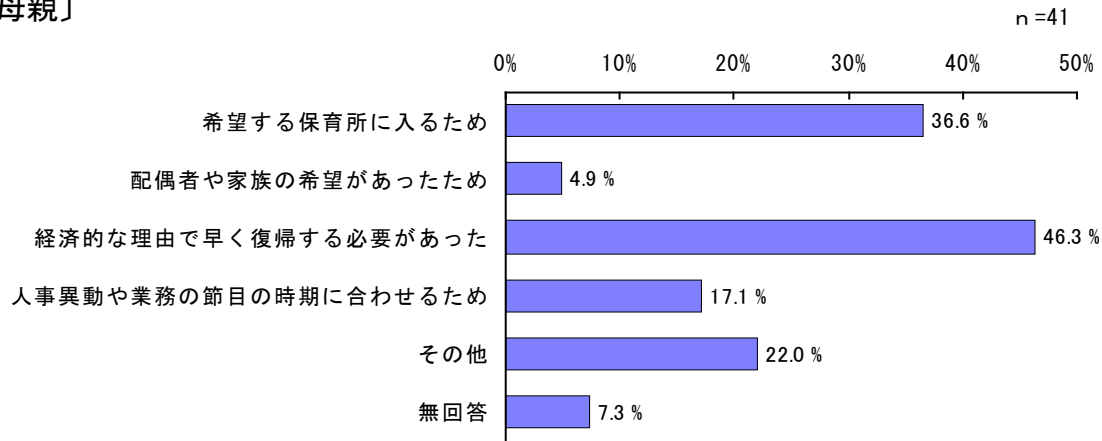
(8) 希望の時期に復帰しなかった理由

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

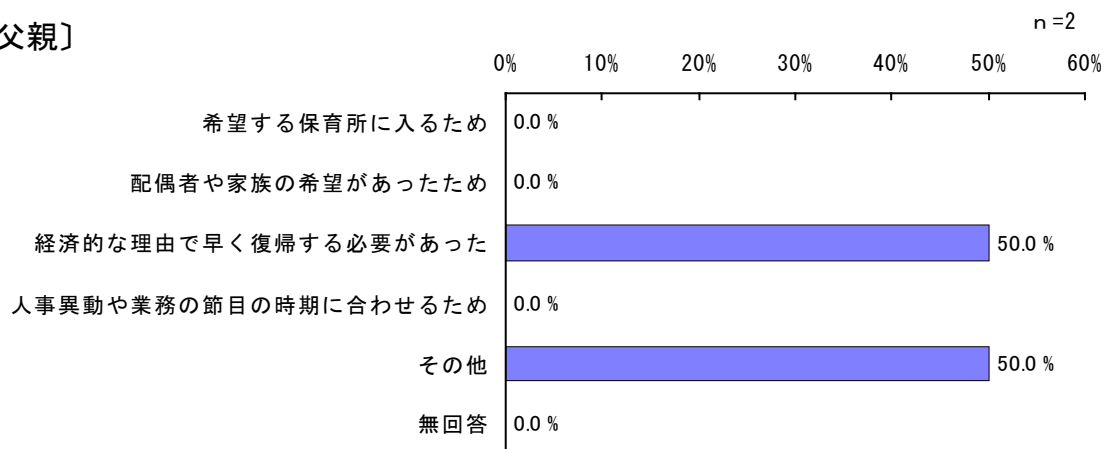
■希望より早く復帰

〔母親〕



○希望の時期に職場復帰しなかった理由は、希望より早く復帰した母親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」46.3%、「希望する保育所に入るため」36.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」17.1%などである。

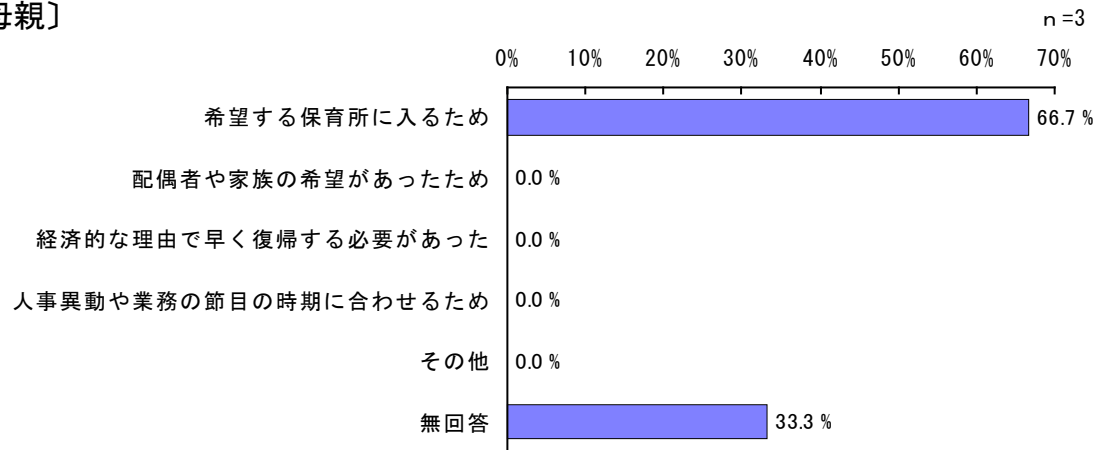
〔父親〕



○希望より早く復帰した父親2人の回答は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が1人、「その他」が1人である。

■希望より遅く復帰

〔母親〕



○希望の時期に職場復帰しなかった理由は、希望より遅く復帰した母親は、「希望する保育所に入るため」66.7%、他の項目の回答はゼロである。

〔父親〕

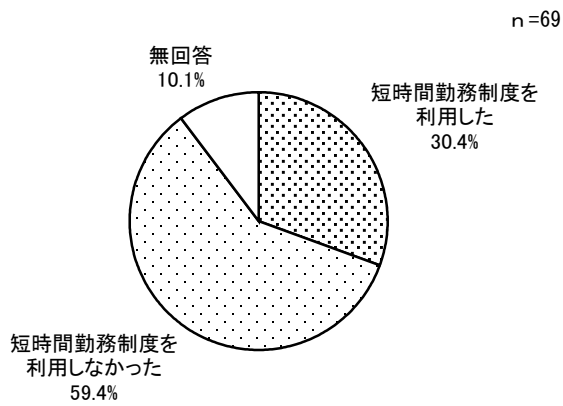
○希望より遅く復帰した父親は、いなかった。

(9) 短時間勤務制度の利用

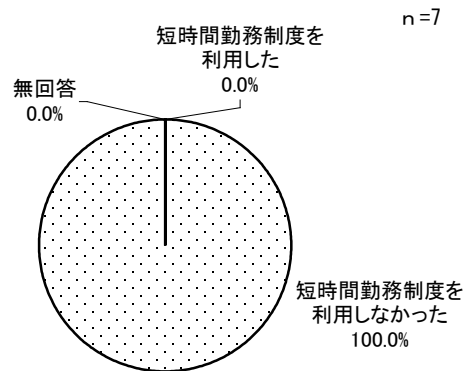
問 30-2 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所 1 つに○をつけてください。

〔母親〕



〔父親〕



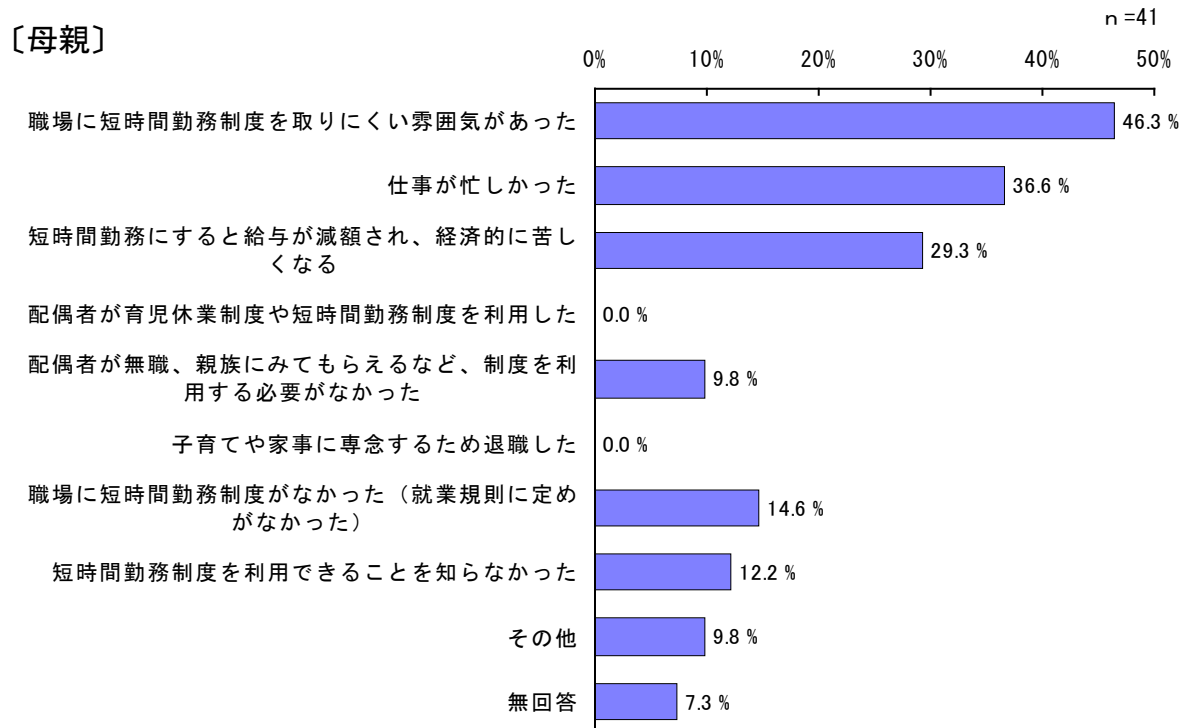
○育児休業取得後、職場に復帰した母親のうち、「短時間勤務制度を利用しなかった」59.4%、「短時間勤務制度を利用した」30.4%である。

○育児休業取得後、職場に復帰した父親7人のうち、「短時間勤務制度を利用しなかった」が7人全員である。

（10）短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 30-7 で「2.短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

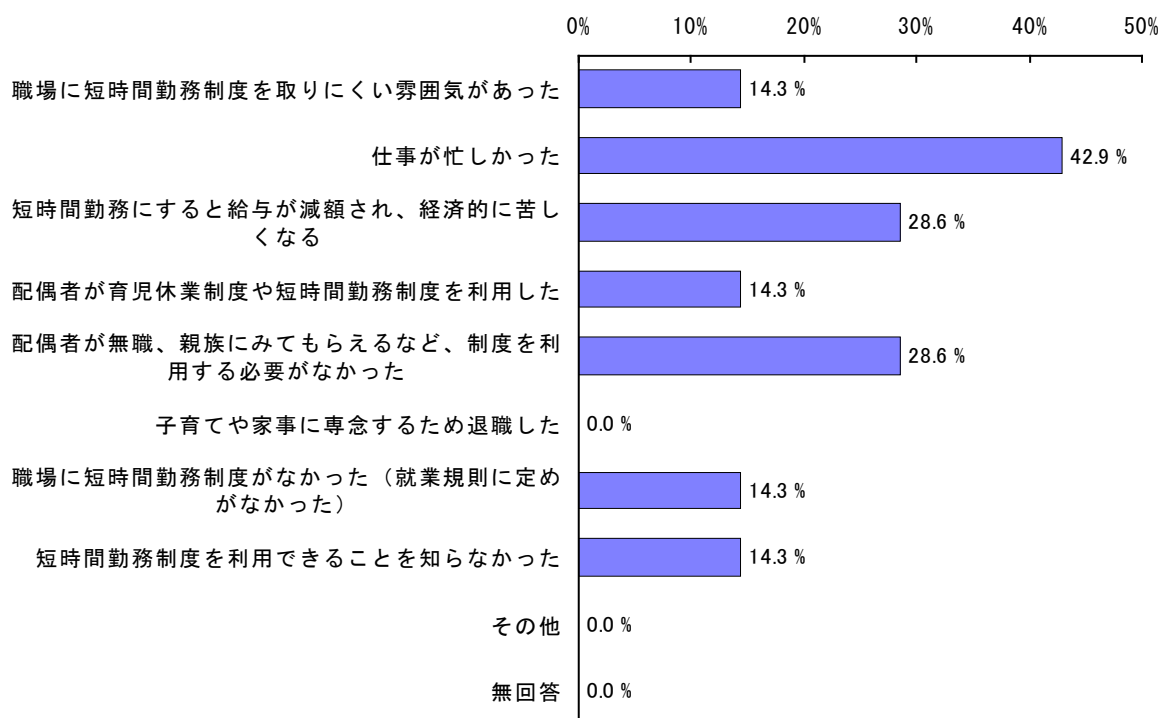
問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる理由をすべてに○をつけてください。



○育児休業取得後職場に復帰した人で、短時間勤務制度を利用しなかった人に、利用しなかった理由をたずねたところ、母親は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」46.3%が4割半ばで最も多く、次いで「仕事が忙しかった」36.6%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」29.3%などである。

〔父親〕

n=7



○育児休業取得後職場に復帰した人で、短時間勤務制度を利用しなかった人に、利用しなかった理由をたずねたところ、父親は、「仕事が忙しかった」42.9%が4割を超えて最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」及び「配偶者が無職、親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がいずれも28.6%などである。

（11）育児休業の取得希望時期

問 30-2で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

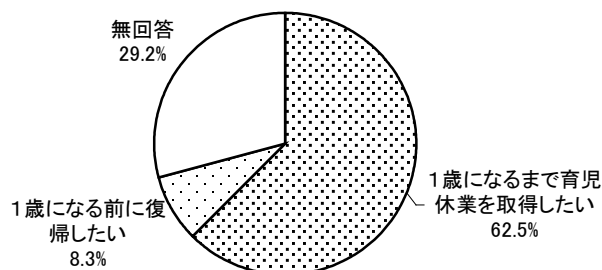
問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

〔母親〕

n=24

〔父親〕

※父親は該当者なし



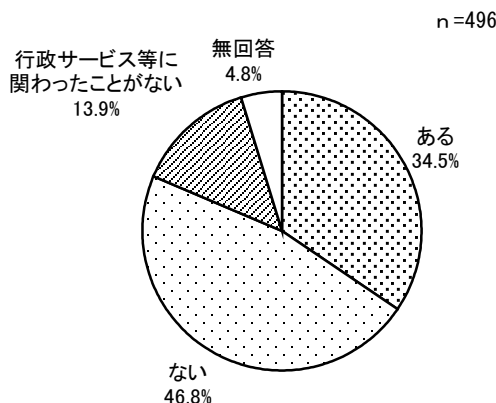
○母親は、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」62.5%が6割を超えて多く、「1歳になる前に復帰したい」8.3%である。

○父親は、現在も育児休業中に該当する人がいなかった。

11. 市の子育て環境や子育て支援サービス

(1) 出産・育児に関する行政サービスへの不満

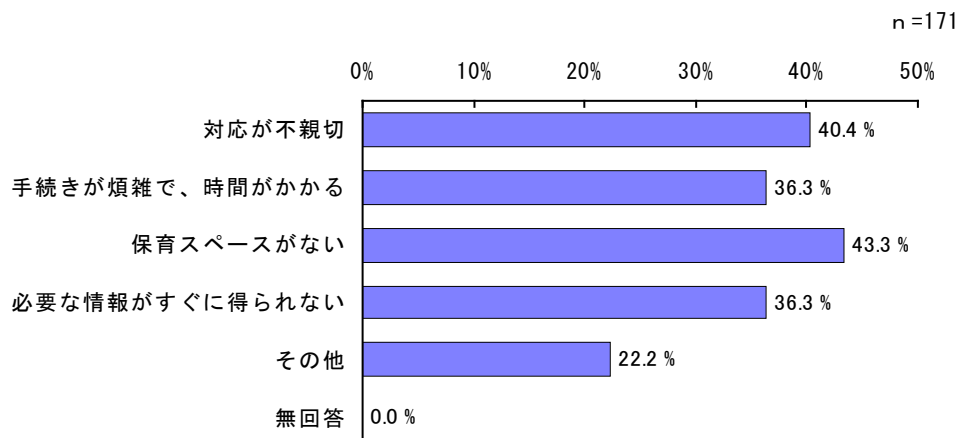
問 31 出産、育児に関する行政サービス（行政窓口、公的施設）について不満に思ったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○出産、育児に関する行政サービスについて、不満に思ったことは「ない」46.8%が4割半ばと多く、「ある」34.5%、「行政サービス等に関わったことがない」13.9%である。

(2) 不満に感じたこと

問 31-1 どのような点に不満を感じましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



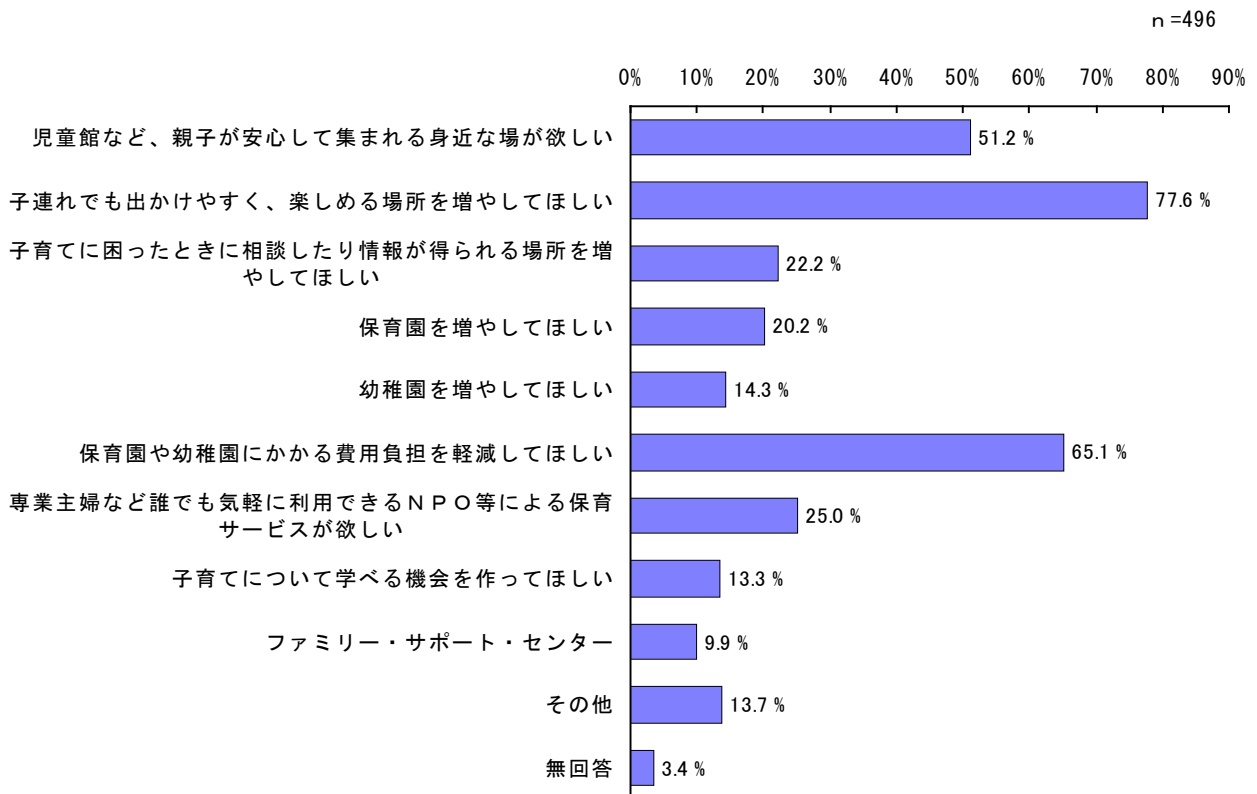
○出産、育児に関する行政サービスについて、不満に思ったことがある人に、その内容をたずねたところ、「保育スペースがない」43.3%、「対応が不親切」40.4%、「手続きが煩雑で、時間がかかる」及び「必要な情報がすぐに得られない」がいずれも36.3%などである。

○「その他」の主な内容は、以下の通りである。

※「その他」の内容は、現在まとめている最中です。

（３）充実を図ってほしい市のサービス

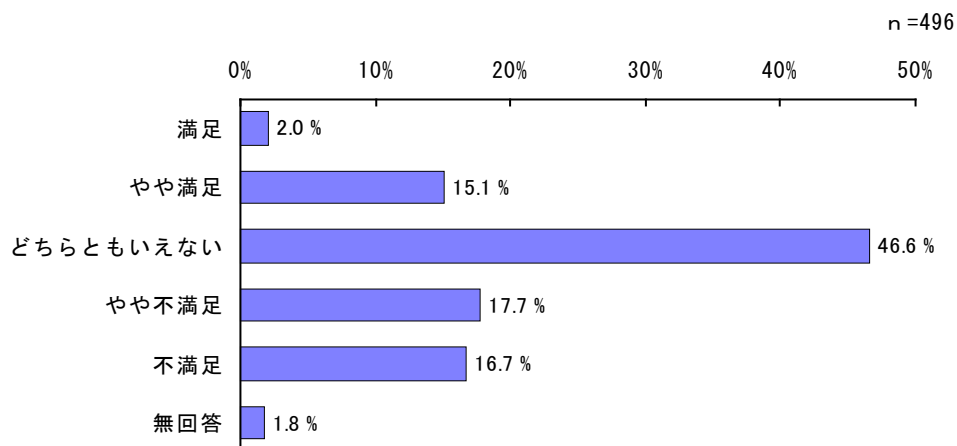
問 32 市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○充実を図ってほしい子育て支援は、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」77.6%が最も多く、次いで「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」65.1%、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場が欲しい」51.2%などである。

(4) 子育ての環境や支援への満足度

問 33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○子育ての環境や支援への満足度は、「どちらともいえない」46.6%、「やや不満足」17.7%、「不満足」16.7%、「やや満足」15.1%、「満足」2.0%である。

(5) 市の政策へのご意見・ご要望

問 34 最後に、下記にあげる項目について、市の政策に関するご意見やご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

○子育てサービスについて

○遊び場の整備について

○情報提供について

○その他（ご意見等をご自由にお書きください）

※自由回答をまとめている最中です。